

令和 8 年度 第 1 回豊田市博物館運営協議会

日時 令和 8 年 9 月 1 8 日（金）

午後 2 時～午後 4 時

場所 豊田市博物館 会議室

次 第

1 館長あいさつ

2 委員自己紹介 資料 1

3 博物館組織体制と運営協議会概要 資料 2 -1 資料 2-2-1 資料 2-2-2

4 会長の選出及び職務代理の指名

5 議題

（1）令和 7 年度実績について 資料 3

（2）令和 8 年度展覧会開催状況 資料 4

（3）その他

6 事務局から連絡

7 展覧会視察

令和 8 年度 豊田市博物館運営協議会委員

任期：令和 8 年 6 月 1 日～令和 10 年 5 月 31 日

◇委員 (敬称略・50 音順)

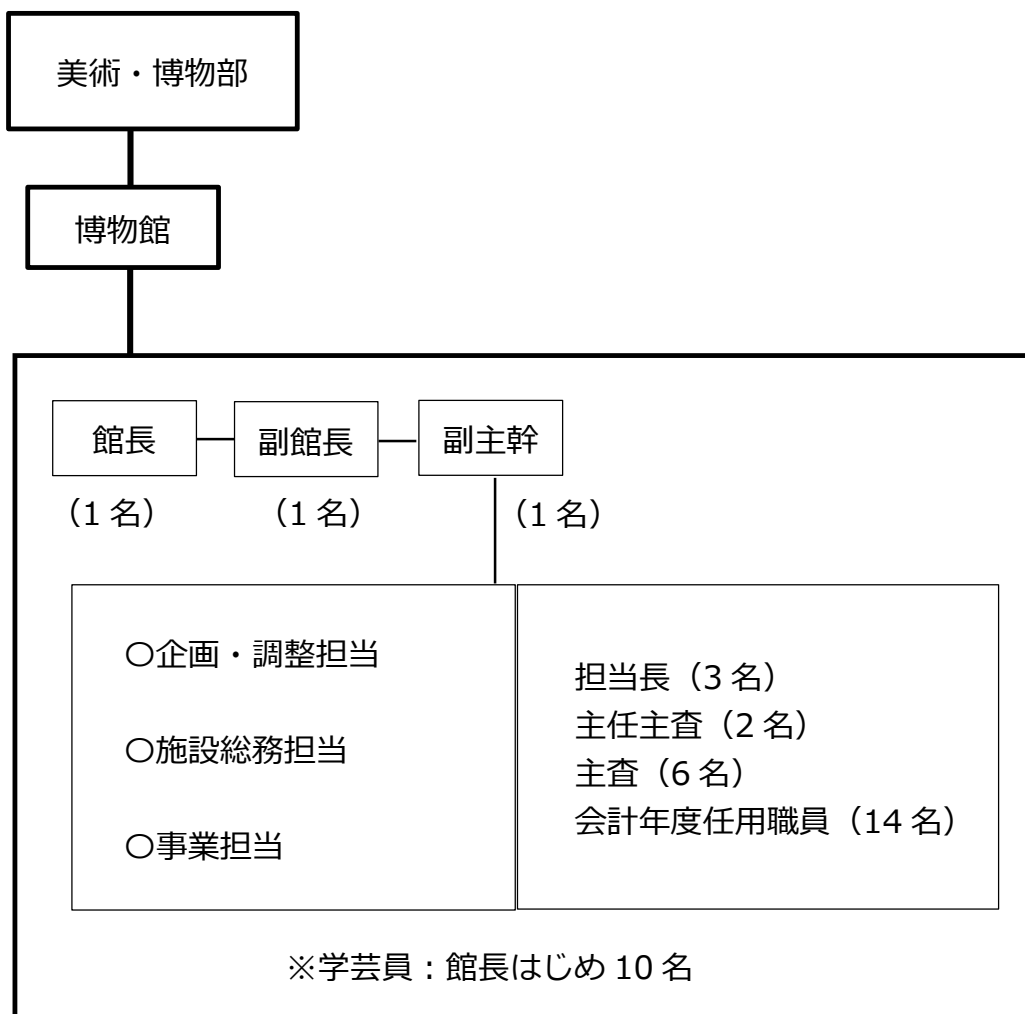
	氏 名	就任年月日	区 分
1	石田 瑞奈	令和 8 年 6 月 1 日 (1 期目)	市民公募
2	北村 和宏	令和 6 年 6 月 1 日 (2 期目)	学識経験者 (文化財保護審議会委員)
3	釘宮 順子	令和 6 年 6 月 1 日 (2 期目)	市民活動、家庭教育
4	鈴木 康二	令和 8 年 6 月 1 日 (1 期目)	学識経験者 (南山大学)
5	新美 倫子	令和 6 年 6 月 1 日 (2 期目)	学識経験者 (名古屋大学)
6	西本 昌司	令和 8 年 6 月 1 日 (1 期目)	学識経験者 (愛知大学)
7	布垣 直昭	令和 6 年 6 月 1 日 (2 期目)	社会教育 (トヨタ博物館)
8	原田 一弥	令和 8 年 6 月 1 日 (1 期目)	学校教育 (益富中学校 校長)
9	平野 敬一	令和 6 年 6 月 1 日 (2 期目)	地域連携 (小坂自治区長)
10	深谷 暢樹	令和 6 年 6 月 1 日 (2 期目)	市民活動 とよはくパートナー (東海窯業原料株式会社)

◇事務局

氏 名	所 属 ・ 役 職
田境 志保	美術・博物部 部長
成瀬 文浩	美術・博物部 副部長
村田 眞宏	館長
上田 研	副館長
井上 美知代	副主幹
梅村 剛	担当長
足立 公平	担当長
倉林 重幸	担当長
田原 悦史郎	主任主査
永田 悠記	主査

令和 8 年度豊田市美術・博物館 組織編制等

1 組織編制



令和 8 年 8 月 1 日現在

2 分掌事務

- ・ 博物館の運営管理に関すること。
- ・ 博物館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- ・ 博物館の展覧会等の事業の実施に関すること。
- ・ 博物館資料の調査研究に関すること。
- ・ 博物館の普及及び教育に関すること。

博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号） 抜粋

（博物館運営協議会）

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十五条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

豊田市博物館条例（令和 5 年 6 月 30 日 条例第 50 号） 抜粋

（博物館運営協議会）

第 18 条 博物館法第 25 条の規定により、博物館に豊田市博物館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会は、委員 10 人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験を有する者
- (5) 市民、地域、企業等との連携に資する活動を行う者
- (6) 公募による市民(市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。)

4 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

豊田市博物館管理規則（令和 5 年 8 月 4 日 規則第 68 号） 抜粋

（博物館運営協議会の会長）

第 16 条 条例第 18 条第 1 項に規定する運営協議会(以下単に「運営協議会」という。)に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

（運営協議会の会議）

第 17 条 運営協議会の会議(以下単に「会議」という。)は、会長が招集し、議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(会議の特例)

第18条 前条の規定にかかわらず、会長は、緊急を要する場合その他やむを得ない理由のある場合は、委員に書面を送付し、又は電磁的記録(条例第3条第1項第1号の電子的記録をいう。以下同じ。)を送信し、その意見を徴し、又は賛否を問い、その結果をもって会議の議決に代えることができる。

2 この場合において、前条第2項中「会議」とあるのは「会議における審議」と、「過半数が出席しなければ開くことができない」とあるのは「半数以上から書面又は電磁的記録による回答がなければ成立しない」と、同条第3項中「出席委員」とあるのは「書面又は電磁的記録により回答のあった委員」と読み替えるものとする。

（趣旨）

第1条 この要綱は、豊田市博物館条例（令和5年条例第30号。以下「条例」という。）及び豊田市博物館管理規則（令和5年規則第81号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、豊田市博物館運営協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定める。

（協議内容）

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項を協議する。

- （1）博物館の取組む展覧会や普及啓発等の事業に関する事。
- （2）施設の利用及び運営に関する事。
- （3）その他、博物館からの諮問事項

（会長の職務代理）

第3条 会長が不在の場合は、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議への委員以外の者の出席）

第4条 協議会は、必要に応じて委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聞くことができる。

（会議の公開）

第5条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、原則として公開とする。ただし、豊田市情報公開条例第7条各号に定める非公開情報を扱う場合又は会長が非公開とすることが適当と判断した場合は、会議の全部又は一部を非公開とすることができる。

- 2 会議の公開は、豊田市ホームページ等により周知する。
- 3 会議の傍聴は、会場の都合等により事務局があらかじめ定める人数の範囲内において、受付順で傍聴を認める。
- 4 次の各号のいずれかに該当するものは、会場への入場及び傍聴を認めないものとする。
 - （1）人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者
 - （2）酒気を帯びていると認められる者
 - （3）ビラ、プラカード、旗の類を携帯している者
 - （4）その他、会議の円滑な進行を妨げると認められる者

（会議録）

第6条 協議会の議事については、会議録を作成する。

- 2 前項の会議録には、会長及び出席した委員1名が確認する。ただし、会長が不在の場合は、第3条に定める代理人及び出席した委員1名が確認する。
- 3 会議録は、前項の確認後に、豊田市ホームページに掲載する等一般の閲覧に供することができるものとする。

（委任）

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、博物館副館長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和6年6月1日から施行する。

令和7年度（2025年度） 豊田市博物館活動実績報告書

【内 容】

- 1 設置目的・使命・活動理念・事業活動
 - （1）設置目的
 - （2）使命
 - （3）活動理念
 - （4）事業活動
- 2 利用実績
- 3 みんなでつくる博物館事業
 - （1）とよはくパートナー
 - （2）連携事業
- 4 調査研究
 - （1）博物館・展覧会に関すること
 - （2）豊田市に関すること
- 5 収集保存
 - （1）購入・寄贈・寄託・記憶収集・標本収集
 - （2）貸出
 - （3）所蔵品管理
- 6 展示・展覧会・地域展示
 - （1）常設展
 - （2）展覧会
 - （3）地域展示
- 7 教育普及
 - （1）博物館学習
 - （2）博物館実習
 - （3）職場体験
 - （4）ワークショップ
 - （5）地域での活動
- 8 広報
ホームページ・Instagram

1 設置目的・使命・活動理念・事業活動

(1) 設置目的

「多様な自然環境と、その中で生きる人々が生み出してきた歴史、文化及びものづくり産業の歩みを物語る資料と記憶を、市民、地域及び企業とともに未来へつなげ、市への愛着の醸成及び地域の活性化に寄与する」 (「豊田市博物館条例」第2条)

(2) 使命

使命1 「とよた」を知り、守り、未来へ伝える

使命2 「とよた」に触れ、自由な学びを育む

使命3 多様な人々や文化に出会い、「とよた」の魅力や新たな価値を発見する
(『(仮称) 豊田市博物館基本計画』)

(3) 活動理念

みんなでつくりつづける博物館

(『豊田市新博物館基本構想』)

(4) 事業活動

「収集・保存」「調査・研究」「展示・公開」「出会い・交流」「学習・創造」
「ネットワーク」 (『(仮称) 豊田市博物館基本計画』)

本書における事業実績報告との対応関係は下記の通りである。

3 とよはくパートナー

【出会い・交流、展示・公開、学習・創造、収集・保存、ネットワーク】

4 調査研究 【調査・研究】

5 収集・保存 【収集・保存】

6 展示・展覧会・地域展示 【展示・公開】

7 教育普及 【学習・創造、ネットワーク】

2 利用実績

施設総利用者数	497,343 人
観覧者数	404,913 人
施設利用者数	92,430 人

①観覧者数

月	開館（日）	合計（人）	内訳（人）	
			企画展	常設展
4	11	10,167	5,014	5,153
5	28	17,119	7,334	9,785
6	15	23,208	11,785	11,423
7	28	80,646	51,887	28,759
8	28	91,958	59,682	32,296
9	22	27,415	17,232	10,183
10	20	14,613	8,309	6,304
11	28	36,347	21,755	14,592
12	23	28,644	17,543	11,101
1	16	35,131	22,949	12,182
2	25	18,941	11,232	7,709
3	25	20,704	12,045	8,659
計	269	404,913	246,767	158,146

②施設利用者数

月	開館（日）	合計（人）	内訳（人）					
			セミナールーム	体験室	むかしの家	カフェ	ショップ	その他施設
4	11	2,423	87	241	510	820	341	424
5	28	10,632	2,315	1,654	1,384	1,478	809	2,992
6	15	5,805	1,172	822	469	1,227	1,254	861
7	28	12,520	728	1,094	155	3,819	5,336	1,388
8	28	11,977	142	65	146	3,445	6,279	1,900
9	22	6,441	1,115	1,110	450	1,482	1,809	475
10	20	6,309	2,722	1,031	665	932	609	350
11	28	12,305	1,557	1,381	1,160	2,105	1,369	4,733
12	23	5,544	834	908	743	1,643	985	431
1	16	5,088	452	319	765	1,721	1,560	271
2	25	6,889	1,379	1,192	864	1,339	1,489	626
3	25	6,497	857	604	858	1,605	1,737	836
計	269	92,430	13,360	10,421	8,169	21,616	23,577	15,287

③視察対応

No.	日付	視察団体名	人数（人）
1	4月6日	ふじのくに地球環境史ミュージアム	2
2	7月13日	全国景観会議	16
3	7月25日	文部科学省総合教育政策局	4
4	10月16日	全国史跡整備市町村協議会	45
5	10月30日	東京都品川区議会	10
6	11月22日	南山大学人類学研究所	2

7	12月17日	豊田市教育委員会	17
8	2月20日	みよし市文化財保護委員会	8
9	3月5日	広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	5
10	3月6日	小山市立博物館	2

3 みんなでつくる博物館事業

【総括】

とよはくパートナーは、博物館と継続的に関わり、一緒に博物館をつくりつづけていく個人・サークル・地域団体・企業等である。『みんなでつくりつづける博物館』の実践のため、とよはくパートナーをはじめ、市民団体や企業とともに、えんにち空間やむかしの家等で連携事業を行った。

個人パートナーは活動2年目を迎え、安定したグループ活動を行うことができた。

新たにとよはくパートナーの自主活動グループが発足し、9つのグループによる活動を行った。この自主活動グループは、豊田市に関連した共通の興味関心に基づいて、個人パートナー同士が3人以上集まり追究活動、講座やイベントを行う。その成果として「とよはくパートナーフェス」を開催し、ワークショップや研究した資料の展示などを行った。

団体パートナーは令和6年度より6団体増加し、イベントや連携展示なども活況を呈した。

えんにち空間では団体パートナーや市役所の部署が様々なテーマで展示を行い、中村寿一・豊田喜一郎のパネル展示など、豊田市ならではのテーマの展示ができた。また、とよはくアクアリウムでは展覧会に合わせたテーマの展示を行い、展覧会の広がりを実現できた。

しかし、えんにち空間は大規模巡回展の特設ショップ設置や列整理のスペースによる空間的制約、むかしの家は夏季や冬季の気象状況により使用が制限された。これらの制限について、今後の対策が必要である。

(1) とよはくパートナー

①個人パートナー 登録者 162 人※複数のグループに登録できるため下表の合計と一致しない。

活動グループ名	活動内容	人数(人)
A 博物館の楽しみ方ガイドグループ	展示案内・体験活動の補助や説明 等	48
B 自然体験グループ	観察池・どんぐりの森の整備 等	33
C 博物館学習グループ	来館した学校への授業対応、各種講座の対応 等	68
D 博物館の環境維持グループ	博物館の資料を虫害などから守るためのトラップ調査 等	21
E あつめるプロジェクトグループ	記憶あつめの実施・記憶証言映像編集 等	15

【活動実績】

月	A(回/人)	B(回/人)	C(回/人)	D(回/人)	E(回/人)	小計(回/人)
4	5/25	1/16	3/18	2/16	5/5	16/80
5	10/42	0/0	19/129	2/15	8/11	39/197
6	7/35	1/16	9/75	2/15	6/6	25/147
7	8/34	1/15	12/95	1/7	7/17	29/168
8	9/31	0/0	1/22	1/12	7/16	18/81
9	9/32	0/0	11/90	2/16	3/10	25/148

10	6/28	0/0	13/98	2/14	4/6	25/146
11	10/35	1/11	16/125	2/15	2/2	31/188
12	7/27	1/12	10/70	2/16	4/11	24/136
1	7/25	1/14	5/36	2/16	4/4	19/95
2	9/25	2/17	14/101	3/26	4/11	32/180
3	9/47	1/14	8/49	2/13	1/11	21/134
計	96/386	9/115	121/908	23/181	55/110	304/1,700

②団体パートナー

登録団体数 108（令和8年3月31日 現在）

内訳 企業：28社、協会・組合等：13団体、サークル：67団体

活動実績

イベントの開催 43回

えんにち空間・常設展示室での展示 7回

③自主活動グループ

登録グループ数 9（令和8年3月31日 現在）

No.	チーム名	活動内容	構成人数
1	とよた古文書解読団	博物館が所蔵する古文書の解読	10
2	大人も楽しいワークショップやり隊	草木染体験や原始機織体験など	7
3	センスオブワンダー	自然界の事象についての探求	3
4	つなぐとよはく	パートナー活動やイベント等の周知	5
5	もいもい	来館者（主に子供）への絵本や紙芝居の読み聞かせ	4
6	とよはく校歌	市内の小中高校の校歌を収集・分析	6
7	むかしのくらしとあそび	昔のくらしや行事・あそびの体験	5
8	チーム・ランドスケープ	博物館の建物と庭園の案内	6
9	語り部屋	市内で起きた災害を伝える	3

（２）連携事業

①えんにち空間

No.	内容	主催	期間
1	アマチュア無線活動紹介	アマチュア無線サポーターズ豊田	4月26日～5月11日
2	郷土作家展	豊田工芸協会	4月26日～5月25日
3	わたしたちは豊田市博物館の学習活動をサポートしています	株式会社鈴木石材、東海窯業原料株式会社、丸普窯業原料有限会社、株式会社豊	4月26日～6月15日
4	「小さな養蚕家」募集!!	とよた衣の里プロジェクト	5月20日～6月15日
5	『川しらべ』を実施します！	豊田市環境保全課	5月27日～6月15日
6	絵画展	アトリエアーティスト	9月13日～10月9日
7	ハートも踊る！インクルーシブひまわりくん	チームおいでん	9月13日～10月9日

8	豊田市の自然分野の展示について	豊田市自然愛護協会	9月13日～10月9日
9	カイコ録	カイコ録プロジェクト	9月22日～10月6日
10	中村寿一・豊田喜一郎顕彰会パネル展示	豊田市産業振興課	1月31日～2月15日
11	石にどきどき 土器にどきどき	愛石クラブとよた	1月31日～3月1日
12	地図と地名の楽しみ	とよはくパートナー	1月31日～3月1日
13	豊田南バイパス全線開通パネル展示	豊田市幹線道路推進課	1月31日～3月29日
14	間伐材を利用したこん棒	限界音楽祭実行委員会	2月17日～3月1日
15	みんな健康でなくっ茶♪	中北薬品株式会社	3月3日～3月29日
16	Re : Paper ゴミを漉けば、紙になる	豊田市小原和紙のふるさと、愛知県立芸術大学	3月3日～3月29日

②むかしの家

No.	内容	主催	期間
1	桶茶体験	いなぶ桶茶茶温会	4月5日
2	昭和の日コンサート	篠笛ユニット-yui-	4月29日
3	お友達展	豊田工芸協会	5月2～4日
4	日本のラジオ放送開始から100年展	アマチュア無線サポーターズ	5月5日
5	カリンバを持って大集合 day	シェア bon	5月18日
6	ふらっとルーム	ゆめばレット	5月24日
7	ウクレレ演奏会	ウクレレ Smile-M	5月25日
8	篠笛の響き	篠笛ユニット-yui-	10月25日
9	カリンバギター秋の発表会	シェア bon	10月26日
10	とよた・アマチュア無線まつり	アマチュア無線サポーターズ	11月2日
11	お箏聴きにおいでん、気が向いたらやってみりん by えすざむ	SZaMT Entertainment	11月15日

③とよはくアクアリウム

とよはくアクアリウムでは、団体パートナーである矢作川水族館とともに運営する水槽管理グループが展示活動を行った。市内に生息する水棲生物を中心に、開催中の展覧会をテーマにした特集展示を行った。

No.	内容	期間
1	矢作川のニョロンな魚/ドジョウパラダイス	4月26日～6月15日
2	エジプトアクアリウム	6月28日～9月7日
3	スペースアクアリウム	10月18日～1月18日
4	矢作川の旅する生き物/I love 測量「線のある魚」	1月31日～3月29日

④常設展

とよたたんきゅうラボ【豊田市の岩石マップ】

制作：64 図郭追加（157/371 図郭完成）

展示：地学愛好会（とよはくパートナー）

とよたストーリー【とよたから宇宙へ！H3 ロケットを支えるとよたの企業】

期間：令和7年9月13日（土）～令和8年1月18日（日）

展示：株式会社エノア

とよたストーリー【日露国境標石になった！？花沢石】

期間：令和7年10月18日（土）～令和8年3月29日（日）

展示：株式会社鈴木石材、根室市自然と歴史の資料館

4 調査研究

（1）博物館・展覧会に関すること

山田佳美

- ・「みんなでつくる博物館—デジタル時代の市民参画と記憶の共有」（令和7年度ミュージアム・パブリックリレーションズ研修、文化庁主催、於湯島ファーストビル（東京都）、令和8年2月20日）

中島学

- ・「伊能忠敬の三河測量について」（三河地域史研究会8月例会、於安城市文化センター、8月9日）
- ・豊田市博物館編『伊能忠敬—新しい地図の世界へ—』（豊田市博物館、展覧会図録の編集、共著）

倉林重幸

- ・豊田市博物館編『開館1周年記念岸田吟香没後120年 岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—』（豊田市博物館、展覧会図録の編集、論考執筆）

（2）豊田市に関すること

鶴田博嗣

- ・「中大排水路における魚道および深みの造成とその効果」（『矢作川研究 No.30』、共著論文）
- ・「樺太日露国境標石のポータブル型蛍光X線分析(pXRF)による非破壊同定」（文化地質研究会、共同学会発表）

5 収集保存

（1）購入・寄贈・寄託・記憶収集・標本収集

①購入

- ・件数 12 件
- ・点数 36 点

No.	資料登録日	大分類	資料名・表題	数量
1	令和7年10月10日	歴史	『大役小志』	1冊
2	令和7年12月20日	民俗	『新案雙六當世二筋道』	1枚
3	令和8年1月16日	民俗	『新案明治婦人雙六』	1枚
4	令和8年3月4日	歴史	『最近調査婦人職業案内』	1冊
5	令和8年3月16日	歴史	『主婦の友』第40巻第10号	1冊
6	令和8年3月17日	歴史	『婦人之友』昭和43年4月、昭和48年8月	2冊

7	令和8年3月17日	歴史	『婦人之友』昭和42年1～12月、昭和45年1～12月	24冊
8	令和8年3月21日	歴史	『現代婦人就職案内』	1冊
9	令和8年3月21日	歴史	『稲武の婦人』	1冊
10	令和8年3月28日	歴史	『新春のスタイル・ブック』昭和25年	1冊
11	令和8年3月28日	歴史	『文化スタイルブック夏1954』	1冊
12	令和8年3月31日	歴史	『大徳寺禅僧墨蹟』	1点

②寄贈

- ・件数 124件
- ・点数 460点

No.	資料登録日	大分類	資料名・表題	数量	寄贈者
1	令和7年4月9日	歴史	海老名三平着用 甲冑	1領	個人
2	令和7年4月10日	歴史	選挙公報ほか	3枚	—
3	令和7年4月11日	歴史	『豊田市史』24別編 総集編（サイン本）	1冊	—
4	令和7年5月22日	歴史	風呂敷	2枚	個人
5	令和7年6月8日	歴史	又日庵・渡邊綱光 和歌短冊	3枚	個人
6	令和7年6月8日	歴史	又日庵 茶会記（二月五日正午付）	1冊	個人
7	令和7年6月8日	歴史	松平乗友筆 一行書	1点	個人
8	令和7年7月1日	歴史	若園小学校 往復公文書綴・社会教育関係綴	3冊	団体
9	令和7年7月1日	民俗	夜念仏と盆踊の資料	2点	個人
10	令和7年7月9日	歴史	豊田市防災マップ 昭和62年3月	1点	—
11	令和7年7月9日	歴史	豊田市詳細図 若林東町・若林西町・高美町（昭和50年代）	1点	—
12	令和7年7月9日	歴史	豊田市詳細図 若林東町・若林西町・高美町（平成8年度版）	1点	—
13	令和7年7月9日	歴史	愛知県観光地図	1点	—
14	令和7年7月9日	歴史	豊田市長寿番付	2点	—
15	令和7年7月26日	歴史	学校日誌 明治36年～昭和59年	16冊	団体
16	令和7年7月30日	歴史	大屋敷遺跡採集 石器	36点	個人
17	令和7年7月30日	歴史	宮平採集 黒曜石	6点	個人
18	令和7年7月30日	民俗	書類箱	1点	個人
19	令和7年7月30日	民俗	組長札	1点	個人
20	令和7年7月31日	美術	渡邊規綱手造赤平茶碗 歌銘秋の田の	1点	個人
21	令和7年8月1日	民俗	印鑑	1点	個人
22	令和7年8月13日	歴史	ラグビーワールドカップ2019関連資料 『ラグビーワールドカップ2019日本大会公式ホスピタリティー』	1点	個人
23	令和7年8月13日	歴史	第43回ディスプレイ産業賞(2024)賞状	1点	団体
24	令和7年8月14日	歴史	iF DESIGN AWARD 2025 盾	1点	団体
25	令和7年8月14日	歴史	iF DESIGN AWARD 2025 賞状	2点	団体
26	令和7年8月14日	歴史	iF DESIGN AWARD 2025 パンフレット	2点	団体
27	令和7年8月14日	歴史	iF DESIGN AWARD 2025 ポストカード	2点	団体
28	令和7年8月14日	民俗	豆炭あなか	1点	個人
29	令和7年8月14日	民俗	豆炭	15点	個人
30	令和7年8月14日	考古	今朝平遺跡周辺採集 土器 石器	19点	個人
31	令和7年8月14日	考古	大貝津遺跡周辺採集 陶器	12点	個人
32	令和7年8月14日	考古	日間賀島採集 土錘	5点	個人
33	令和7年8月14日	考古	親王町（宝珠院下）採集 陶器	3点	個人

34	令和7年8月14日	考古	石橋遺跡周辺採集 陶器	14点	個人
35	令和7年8月21日	歴史	『大阪毎日新聞』号外 大正十年十一月五日	1点	個人
36	令和7年8月28日	歴史	『名古屋新聞』号外 大正十三年十二月二日	1点	個人
37	令和7年8月28日	歴史	『新愛知』（昭和七年）三月廿一日～昭和十七年三月七日	42点	個人
38	令和7年8月28日	歴史	『中部日本新聞』 昭和十八年五月二十五日～昭和二十年三月十一日	19点	個人
39	令和7年8月28日	歴史	『中日新聞』 昭和55年12月30日、平成元年	7点	個人
40	令和7年8月28日	歴史	『中日スポーツ』 平成元年10月30日	1点	個人
41	令和7年9月6日	歴史	航空兵マフラー	1点	個人
42	令和7年9月6日	歴史	兵籍番号入りの布	1点	個人
43	令和7年9月6日	歴史	遺品の布	1点	個人
44	令和7年9月6日	歴史	辞令 任海軍少尉	1点	個人
45	令和7年9月6日	歴史	授与状 金鷄勲章及勲六等単光旭日章	1点	個人
46	令和7年9月6日	歴史	金鷄勲章功四級	1点	個人
47	令和7年9月6日	歴史	勲六等単光旭日章	1点	個人
48	令和7年9月6日	歴史	写真	1点	個人
49	令和7年9月6日	歴史	辞世の和歌 色紙	1点	個人
50	令和7年9月12日	歴史	手帳	2点	個人
51	令和7年9月12日	歴史	名刺	2点	個人
52	令和7年9月12日	歴史	新聞記事（昭和20年2月21日の硫黄島への特攻）	1点	個人
53	令和7年9月14日	民俗	印	1点	個人
54	令和7年9月15日	歴史	色紙「若鮎」	1点	個人
55	令和7年9月15日	歴史	色紙「柿」	1点	個人
56	令和7年9月15日	歴史	色紙「富士と松」	1点	個人
57	令和7年9月30日	民俗	挙母祭り絵馬（神明町）	1点	団体
58	令和7年9月30日	民俗	ジュークボックス用レコード	34点	—
59	令和7年9月30日	歴史	磯谷清市氏関連資料「文化財関係書類綴」	23点	—
60	令和7年10月9日	民俗	豊田そごう開店記念品 ビアジョッキセット	1点	個人
61	令和7年10月12日	歴史	『柿瓜集』	1点	個人
62	令和7年10月12日	民俗	祝儀袋	1点	個人
63	令和7年10月13日	民俗	博物館PRイベント用はっぴ	1点	—
64	令和7年10月13日	民俗	『西三河のかるた』	1点	個人
65	令和7年10月13日	歴史	『御祭礼行司記』	1点	個人
66	令和7年10月19日	歴史	『貨物輸出入表 西加茂六ヶ村』	1点	個人
67	令和7年10月23日	民俗	看板「南豊田」	1点	団体
68	令和7年10月26日	歴史	鈴彦書店戦時中広告	1点	—
69	令和7年11月6日	歴史	学校要覧	1点	—
70	令和7年11月7日	歴史	入学案内 浅中の生活	1点	—
71	令和7年11月7日	歴史	写真	1点	—
72	令和7年11月7日	歴史	磯谷清市氏関連資料「曾根遺跡調査資料」	1点	—
73	令和7年11月7日	歴史	博物館新築工事設計委託設計者選定プロポーザル資料	48点	—
75	令和7年11月8日	歴史	『猿投村土地宝典』	1冊	個人
76	令和7年11月9日	歴史	香嵐渓写真 巴川東岸	1枚	個人
77	令和7年11月13日	歴史	「尋常科第一学年第一等賞」	1点	個人
78	令和7年11月13日	歴史	「尋常科第二学年第一等賞」	1点	個人

79	令和7年11月13日	歴史	「一内地旅行壺部」	1点	個人
80	令和7年11月13日	歴史	「小学地理用新地図一部」	1点	個人
81	令和7年11月20日	歴史	小栗家関連資料（文書）	1点	—
82	令和7年11月23日	民俗	マッチ箱	1点	—
83	令和7年11月27日	歴史	『アサヒカメラ臨時増刊号 朝日新聞 報道写真傑作集』	1点	—
84	令和7年11月27日	歴史	「下山広報綴」	1点	—
85	令和7年12月1日	歴史	『豊田市猿投地区（中部其ノ一）土地図鑑』	1点	個人
86	令和7年12月3日	民俗	「国際児童近代洋風建築シリーズ切手帳」セット	4点	個人
87	令和7年12月4日	歴史	『豊田市住宅地図』	1点	個人
88	令和7年12月4日	民俗	『少女生立双六』	1点	—
89	令和7年12月4日	民俗	『家庭教育双六』	1点	—
90	令和7年12月7日	歴史	「中部日本旅行案内図」	1点	—
91	令和7年12月8日	民俗	小原村旗	1点	—
92	令和7年12月8日	民俗	優勝旗	1点	—
93	令和7年12月8日	歴史	足助祭りアルバム	1点	—
94	令和7年12月8日	歴史	足助のうた－天を指す町－発表会	1点	—
95	令和7年12月21日	歴史	香積寺晋山式 写真	2枚	個人
96	令和7年12月21日	歴史	出征祝い 写真	1枚	個人
97	令和7年12月21日	歴史	葭屋岡本家	1枚	個人
98	令和7年12月21日	歴史	集合写真	1枚	個人
99	令和7年12月26日	民俗	レコード「小原音頭」	1枚	—
100	令和8年1月3日	歴史	ap 賞 入賞 トロフィー	1点	団体
101	令和8年1月3日	民俗	『日満交驛大双六』	1点	—
102	令和8年1月3日	歴史	「33年ころ 行政区別豊田市地図」	2点	—
103	令和8年1月3日	歴史	「中央日本豪華鳥瞰図」	1点	—
104	令和8年1月15日	民俗	天秤秤	1点	個人
105	令和8年1月15日	民俗	石炭	1点	個人
106	令和8年1月30日	歴史	写真 久澄橋渡り初め	1枚	個人
107	令和8年1月31日	歴史	拳母石油株式会社 ガソリンスタンド写真	31枚	個人
108	令和8年1月31日	歴史	『蚕糸 科学と技術』	2冊	—
109	令和8年1月31日	民俗	岸田目薬精き水のビン	1点	個人
110	令和8年2月1日	歴史	『まんだら和尚行状記』	1点	個人
111	令和8年2月1日	歴史	『野入山論』	1点	個人
112	令和8年2月8日	民俗	有資格者証明書（発破作業）	1点	個人
113	令和8年2月8日	歴史	写真 香焼炭鉱	4枚	個人
114	令和8年2月20日	歴史	「郷土資料」	1点	個人
115	令和8年2月20日	歴史	「卒業証書」	1枚	個人
116	令和8年2月20日	歴史	「半紙一帖」	1点	個人
117	令和8年2月20日	歴史	「一郵便切手 五銭」	1点	個人
118	令和8年2月20日	歴史	「修業証書」	1枚	個人
119	令和8年2月20日	歴史	「卒業証書」	1枚	個人
120	令和8年2月20日	歴史	「修業証書」	1枚	個人
121	令和8年3月12日	歴史	「故近藤源吉翁遺稿明治大正ノ葛沢」	1点	個人
122	令和8年3月13日	歴史	『東海の相撲史』	1冊	個人
123	令和8年3月20日	歴史	『日本弓道大系図』	1冊	個人
124	令和8年3月26日	民俗	蛇の目傘	1点	個人

③寄託

- ・件数：3 件（藤井達吉関係資料、海老名明四《童女像》、金蔵連八幡社関係資料）
- ・点数：65 点

④記憶収集

- ・件数 322 件（「戦争」、「養蚕・製糸」、「万博」に関する記憶等）

⑤標本収集

- ・件数：27 件（爬虫類 1 件、鳥類 6 件、哺乳類 8 件、植物 12 件）

（2）貸出

①所蔵品・寄託品

- ・件数：5 件

No.	貸出資料	貸出先	貸出理由	期間
1	火縄銃	近岡青年会	足助まつり	9月15日～10月22日
2	棒の手用具・芝居の幕	千足町	千足町自治区祭礼	9月22日～10月31日
3	酒呑ジュリナ遺跡・今朝平遺跡・万場垣内遺跡出土資料	刈谷市歴史博物館	企画展「海の縄文 山の縄文－自然と共有した豊かな暮らし－」	10月4日～11月16日
4	仁田四郎人形	仁田四郎人形	寺部八幡宮秋の大祭	10月9日～10月15日
5	豊田大塚古墳出土台付広口壺・子持蓋付台付壺・子持蓋付台付四連壺	愛知県陶磁美術館/兵庫陶芸美術館	巡回展「This is SUEKI—古代のカタチ、無限大！」	12月13日～令和8年3月8日/3月20日～6月14日

②画像

- ・件数：91 件（「重要文化財紙本著色織田信長像」（長興寺蔵、博物館寄託）、「長篠合戦図屏風」など）

（3）所蔵品管理

燻蒸

博物館収蔵庫への収蔵の準備として、棒の手会館及び足助資料館大河原分館に保管されている資料を燻蒸した。作業は10月に2回行った。

修復

- ・江古山遺跡 SX03 出土の移動式竈・皿型土製品・長胴甕
- ・海老名明四《童女像》
- ・海老名家鎧

6 展示・展覧会・地域展示

（1）常設展「とよたの自然と人々の営み」

常設展は「とよたの自然と人々の営み」をテーマに、以下のコーナーを設け、自然環境とその中で育まれた歴史、文化、産業の営みと記憶を紹介している。

①とよたモノ語り

【主な展示替え内容】

- ・愛・地球博開催 20 年に合わせた、万博関連展示
- ・プロ野球 90 周年に合わせた、豊田市出身選手関連の展示

②とよた記憶トラベル

旧石器・縄文		
時代人	曾根の集落に暮らす	令和7年4月～展示中
クロニクル	石の道具と人の暮らし（資料入替）	令和7年4月～展示中
	縄文人の道具－土器－（資料入替）	令和7年4月～展示中
弥生・古墳		
時代人	豊田大塚古墳と磯谷さん	令和7年4月～展示中
クロニクル	地域の王の姿（資料入替）	令和7年4月～展示中
	祀る・祈る（資料入替）	令和7年4月～展示中
古代・中世		
時代人	多聞院亮牀の日記	令和7年4月～展示中
クロニクル	とよたの中世窯業	令和7年4月～展示中
近世		
時代人	挙母藩士の子ども	令和7年4月～令和8年3月
クロニクル	在郷町足助	令和7年4月～令和8年3月
近代		
時代人	農村歌舞伎とともに	令和7年1月～令和8年1月
クロニクル	挙母の芸妓	令和8年1月～展示中
	養蚕・製糸業の後退と自動車工場の誘致	令和6年10月～展示中
現代		
時代人	加茂蚕糸で働く	令和6年10月～令和7年10月
	トヨタ自動車社員であった父	令和7年10月～令和8年3月
クロニクル	安永川の整備	令和7年1月～展示中
記憶証言映像		
記憶証言映像	伊保原飛行場（昭和20年）後藤さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	伊保原飛行場（昭和20年）内本さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	伊保原飛行場（昭和20年頃）羽根田さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	特攻隊（昭和20年）友山さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	ラッパ吹き（昭和16～20年頃）加納さん	令和6年4月～令和7年6月
記憶証言映像	四七災害（昭和47年）藤村さん	令和6年4月～令和7年12月
記憶証言映像	四七災害（昭和47年）安藤さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	渡し船（昭和39年頃）成瀬さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	矢作川での遊び（昭和10～20年）梅村さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	川での遊び（昭和10年代）太田さん	令和6年4月～令和7年12月
記憶証言映像	豊田市の思い出（昭和10～20年代）羽根田さん	令和6年4月～令和7年12月
記憶証言映像	双美団地ができたころ（昭和44年頃）二村さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	下山のくらし（昭和50年代）柴村さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	山の食べ物（昭和10年代）太田さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	養蚕（昭和11年頃）加納さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	うすれゆく戦中戦後の記憶（昭和20年頃）前田さん（総務監査課作成）	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	うすれゆく戦中戦後の記憶（昭和20年頃）小木曾さん（総務監査課作成）	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	足助の芸者置屋（昭和29年以降）山内さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	日の出新聞（平成18年頃）鈴木さん	令和6年4月～展示中
記憶証言映像	「自然標本あつめるプロジェクト」に参加して（令和5年頃）増田さん	令和7年12月～展示中
記憶証言映像	モータークラブ（昭和34年頃）内本さん	令和7年12月～展示中
記憶証言映像	トヨタ自動車に就職（昭和33年以降）戸田さん	令和7年12月～展示中

③とよたたんきゅうラボ

【主な内容】

- ・展示資料に触ってみよう（ひのし、矢立、シカの角ほか）
- ・顕微鏡に触ってみよう（生物標本、鉱物・岩石標本、土器ほか）
- ・粘土に土器のもようを付けてみよう
- ・石の重さをくらべてみよう

- ・手呂銅鐸（複製）に触ってみよう。
- ・豊田市の岩石マップ（地学愛好会展示）

④とよたストーリー

テーマ	企画	会期
とよたにはクマがいる	豊田市博物館 豊田市環境政策課	4月～9月
七州城から博物館	豊田市博物館	4月～9月
岸田吟香—日本で初めてがいっぱい！—	豊田市博物館	4月～6月
戦後 80 周年企画 せんそうの記憶	豊田市博物館	6月～9月
とよたから宇宙へ！ H3 ロケットを支えるとよたの企業	豊田市博物館 豊田市未来都市推進課 株式会社工ノア	令和 7 年 9 月～令和 8 年 1 月
旧今井家貯木場施設	豊田市博物館	令和 7 年 9 月～令和 8 年 1 月
樺太国境標石になった！？花沢石	豊田市博物館 根室市自然と歴史の資料館、株式会社鈴木石材	令和 7 年 10 月～令和 8 年 3 月
プロ野球誕生から 90 年—戦後に輝いた拳母の星たち—	豊田市博物館	令和 8 年 1 月～6 月

⑤みんなの研究室

【資料閲覧件数】 875 件

【収蔵スペースに配架した主な資料】

縄文土器、自動式卓上電話機、豆炭あんか、『野球界』、電気炊飯器、
三笠のおかもち・食品サンプル、昆虫標本、花崗岩

【閲覧実績】

自動式卓上電話機、縄文土器、農作物樹脂標本、茶箕、がんどう豆炭あんかの
閲覧が多かった。

⑥コレクション展示

「藤井達吉と小原和紙工芸」「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」

【総括】

開館後初のコレクション展示として、前期は、近年寄託を受けた藤井達吉の優品と和紙のふるさとが所蔵する達吉の直弟子たちの作品を展示した。後期は、豊田市を代表する文化財である長興寺所蔵・当館寄託「織田信長像」と当館所蔵「長篠合戦図屏風」・「長久手合戦図屏風」を展示した。

前期の展示では、藤井達吉が1932～35年にかけて制作した作品を展示した。作品の寄託者は、親子2代にわたり藤井達吉の支援者であった挙母の旧商家で、西加茂郡を代表する商業地であった挙母の商人たちが藤井のような芸術家を支援する財力を築いていたことを明らかにした。また、藤井から直接の指導を受けた5人の弟子の代表作を展示し、藤井と弟子たちが農閑稼ぎとしての森下紙の生産が中心であった小原和紙を芸術品の域まで高めたことを明らかにした。

後期の展示では、関連作品として神戸市立博物館蔵「織田信長像」と犬山城白帝文庫蔵「長篠・長久手合戦図屏風」をパネル展示し、当館で保管している作品との違いや類似部分を提示した。展示室内に双眼鏡を設置することで、信長像の衣服の模様や、屏風内の登場人物の表情など、肉眼では分かりにくい部分を紹介することができた。

前期と後期の展示内容を紹介したリーフレットを作成し、展示室内で配布した。また、後期では「長篠・長久手合戦図屏風」の登場人物の一覧を作成し、展示室内で配布した。織田信長像の塗り絵を作成し、子どもを中心に配布した。

観覧者数は16,296人（内覧会含む）で、そのうち前期が5,229人であり目標の4,000人を大きく超えたが、後期は11,067人であり目標の12,000人に近い観覧者数であった。観覧者の年齢層は10代・50代・70代が多かった。観覧者の推移としては、会期全体の平均は354人／日であったが、前期は174人／日、後期は692人／日であった。後期は「織田信長像」の公開もあり、土日を中心に観覧者数が多かった。

後期展の観覧者数が少なかったことから、広報活動について考える必要がある。

会 期 「藤井達吉と小原和紙工芸」

2025年4月26日（土）～5月25日（日） 30日間

「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」

2025年5月31日（土）～6月15日（日） 16日間

会 場 展示室2

観覧料金 常設展観覧料金：一般：300円、高大生：200円、中学生以下：無料

観覧者数 16,296人（1日あたり354人）

「藤井達吉と小原和紙工芸」 5,229人（1日あたり174人）※目標4,000人

「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」 11,067人（1日あたり692人）

※目標12,000人



関連イベント

No.	タイトル	講師	開催日時	会場	参加（人）
1	講演会「信長の城と合戦」	千田嘉博（名古屋市立大学高等教育院教授）	6/7（土）14:00～15:30	セミナールーム	113
2	ギャラリートーク	担当学芸員	6/13（金）14:30～15:00	展示室	120
3	ギャラリートーク	担当学芸員	6/15（日）13:30～14:00	展示室	110

メディア露出

No.	媒体	種別	タイトル	掲載日（放送日）	発行(放送)
1	新聞	記事	藤井達吉らが手掛けた小原和紙工芸を展示	5月7日	中日新聞
2	新聞	広告	豊田市博物館コレクション展示	5月28日	中日新聞
3	WEB	記事	特別公開 重要文化財「織田信長像」と「長篠・長久手合戦図屏風」	5月28日	西三河ぐるとナビ
4	新聞	記事	代表的な信長像細部まで鑑賞を	5月30日	中日新聞
5	新聞	記事	織田信長の肖像画を公開	5月31日	毎日新聞
6	新聞	記事	豊田のお宝見逃すな	6月6日	矢作新報
7	新聞	記事	待望の「織田信長像」登場	6月6日	矢作新報
8	新聞	記事	ご存知「信長像」公開	6月6日	新三河タイムズ
9	新聞	広告	豊田市博物館コレクション展示	6月8日	中日新聞
10	テレビ	報道番組	日本史の教科書などでよく見る織田信長の肖像画 一風変わった鑑賞方法で公開	6月11日	メーテレ
11	新聞	記事	織田信長肖像画と与語正勝	6月20日	矢作新報

アンケート

調査日：4月26日（土）～6月15日（日）

調査方法：展示室内にアンケート用紙と記載台設置

集計件数：「藤井達吉と小原和紙工芸」 91件

「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」 208件

【アンケート結果より】

「藤井達吉と小原和紙工芸」

- ・来館者の年齢層については、10代～40代が46%、50代～80代が54%であった。しかし、学校単位で来館する博物館学習の影響もあってか、10代について、全体の21%を占めていた。20代～40代の来館が割合としては少なく、この年代への来館アプローチが課題である。

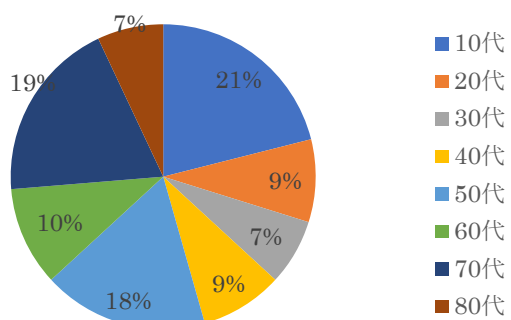
- ・市内からの来館者が 74%、豊田市を含め県内からの来館者が 96%と非常に多い割合を占めている。一方、全体の約 3%が県外からの来館者であり、HP を見ての来館が多かった。
- ・また、来館動機について、HP が多くの割合を占めているが、「その他」において、学校で知った、ポスターやチラシを見たという意見が多く、チラシ配布が有効であることがわかった。
- ・展覧会の満足度は、5（良い）→1（悪い）の評価順で、「4・5」が全体の 86%を占め、多くの方に高い満足度での評価をいただいた。一方で、「1～3」の低い評価が 4 %あり、今後の展覧会を行う上で、作品の点数や展示手法など、検討すべき意見をいただいた。

「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」

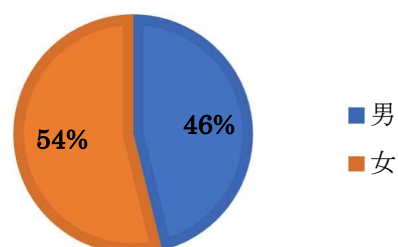
- ・来館者の年齢層については、10 代～40 代が 45%、50 代～80 代が 54%であった。40 代～70 代の来館が多く見られた。
- ・市内からの来館者が 68%、豊田市を含め県内からの来館者が 91%と非常に多い割合を占めている。一方、全体の約 9%が県外からの来館者であり、HP や SNS を見ての来館が多かった。
- ・また、来館動機について、HP が多くの割合を占めているが、「その他」において、家族や知人に聞いたという意見が多く、「織田信長像」が著名であることから、口コミで広がったと考えられる。
- ・展覧会の満足度は、5（良い）→1（悪い）の評価順で、「4・5」が全体の 94%を占め、多くの方に高い満足度での評価をいただいた。一方で、「1～3」の低い評価が 6 %あり、今後の展覧会を行う上で、展示手法や来館者の写真撮影マナーなど、検討すべき意見をいただいた。

集計結果「藤井達吉と小原和紙工芸」

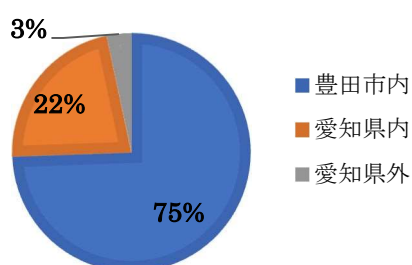
回答者の年齢構成



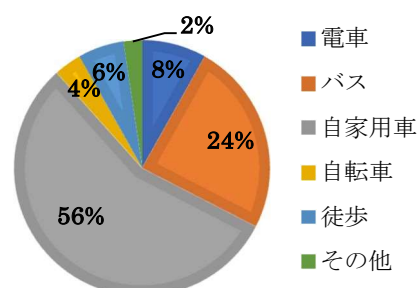
性別



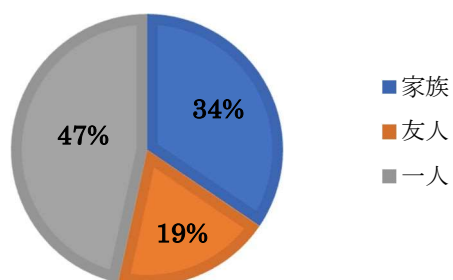
居住地



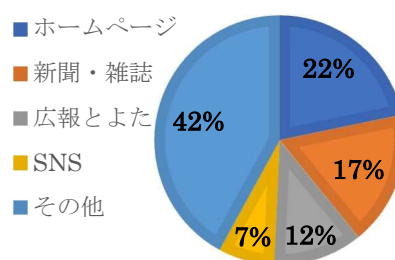
交通手段



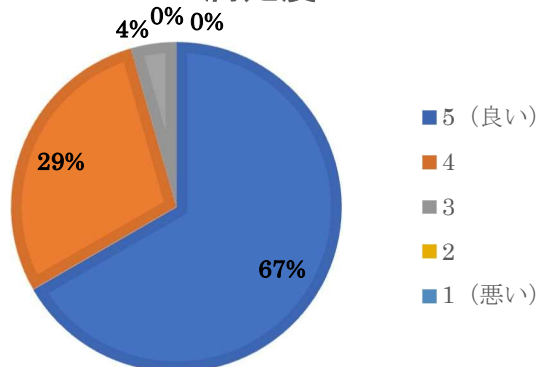
どなたとお越しになりましたか



どのように知りましたか

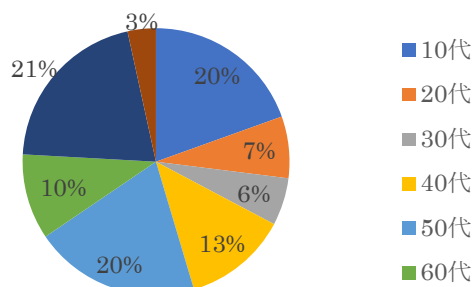


満足度

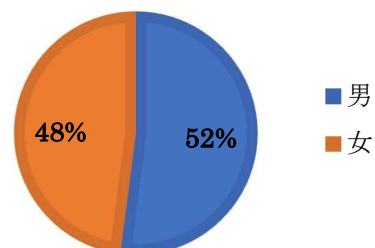


集計結果「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」

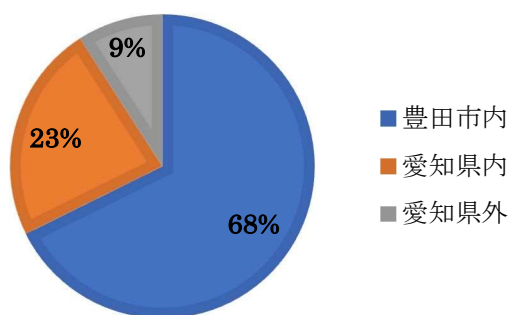
回答者の年齢構成



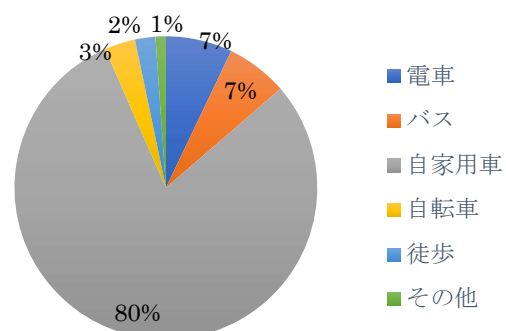
性別



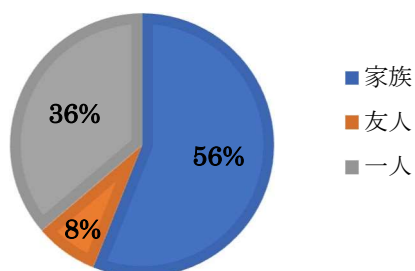
居住地



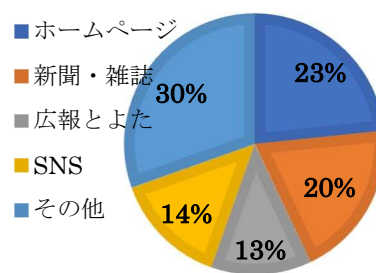
交通手段



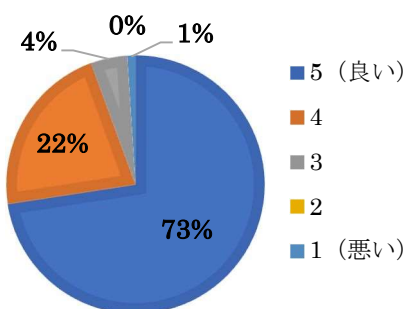
どなたとお越しになりましたか



どのように知りましたか



満足度



（２）展覧会

①開館 1 周年記念岸田吟香没後 120 年「岸田吟香と岸田劉生－近代、それは東洋にあり－」

【総括】

開館 1 周年記念展として、豊田市に所縁の岸田吟香と、その子・劉生の芸術活動を通して、日本における近代化が「西洋化」と同義ではなく、特に芸術面では「東洋」を見つめ直すことで進められたことを明らかにし、日本の近代史への視座の再考を提起した。吟香が同時代の中国（清）から徐三庚らの最先端の書風を日本にもたらし、日下部鳴鶴らに影響を与え、日本の書の近代化に大きく寄与したことを明らかにした。

劉生について、油彩画の画風の変化を代表作から示すとともに、「麗子像」4 点から、画風の変化に中国の宋・元時代の絵画の影響があったことを示した。また、劉生の日本画を積極的にとりあげ、画のみならず自賛を読み解くとともに、画風と書風の変化を明らかにした。劉生の画業の展開を論じる際、吟香から受け継いだものへの着目はこれまでもなされたが、両者に共通する文人精神から父子の芸術の関係性を指摘したのは、本展が初めてであった。

展覧会の内容は、美術専門誌（『美術の窓』2025 年 12 月号、生活の友社）の展評「特別座談会 2025 年の展覧会を振り返る！」で高く評価された。

観覧者数は 15,287 人であり、目標の 20,000 人には到達しなかった。会期全体の観覧者数の平均値は 329.4 人／日。観覧者の 47.3%が、コレクション展示「織田信長像と長篠・長久手合戦図屏風」（5 月 31 日～6 月 15 日：14 日間開館）の開催期間に集中した。観覧者の増加について、同展示との相乗効果が顕著に認められた。観覧者の年齢層は 10～20 代が約 25%、30～50 代が約 25%、60 代以上が約 50%で、高齢の観覧者が半数であったが、小中学生をはじめとした若年層にも観覧いただけた。

会 期	2025 年 4 月 26 日（土）～ 6 月 15 日（日）	46 日間
会 場	展示室 1	
観覧料金	当日券：一般：1,000 円、高校・大学生：800 円、中学生以下：無料	
主 催	豊田市博物館	
共 催	中日新聞社	

観覧者数 15,287 人（1 日あたり 329.4 人／有料率 40.4%） ※目標 20,000 人

図録販売 222 冊（購入率：1.5%） 販売価格 1,500 円



関連事業

関連イベント

No.	タイトル	開催日時	会場	講師	参加(人)
1	講演会「岸田劉生の文人趣味」	4/26 (土) 14:00～15:30	セミナールーム	梶岡秀一(京都国立近代美術館学芸課長)	66
2	ギャラリートーク	5/10 (土) 14:00～15:30	展示室 1	安藤豊邨(全日本書道連盟評議員、日本刻字協会理事長、豊田書道連盟相談役)、担当学芸員	81
3	講演会「岸田吟香に宛てた日下部鳴鶴の手紙と幕末の三筆の書」	5/25 (日) 14:00～15:30	セミナールーム	増田孝(愛知東邦大学客員教授、テレビ東京《開運!なんでも鑑定団》鑑定士)	89
4	ギャラリートーク	6/13 (金) 13:30～14:15	展示室 1	担当学芸員	35



メディア露出

No.	媒体	種別	タイトル	掲載日(放送日)	発行(放送)
1	WEB	じゃらんイベントガイド	開館1周年記念岸田吟香没後 120 年「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」について	2月14日	(株) リクルート
2	WEB	TOKYO ART BEAT	「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」	2月16日	(株) アートビート
3	WEB	ファッションプレス	企画展「岸田吟香と岸田劉生」豊田市博物館で一美の理想としての“東洋”「麗子像」など代表作が一堂に	2月16日	(株) カーリン
4	WEB	ツーリズムとよた	豊田市博物館開館1周年記念「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」	2月16日	ツーリズムとよた
5	WEB	PR TIMES	【豊田市】豊田市博物館開館1周年及び岸田吟香没後 120 年を記念した企画展「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」を開催します	4月18日	PR TIMES

6	WEB	TRAICY	【豊田市】豊田市博物館開館 1 周年及び岸田吟香没後 120 年を記念した企画展「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」を開催します	4 月 18 日	(株) トライシージャパン
7	新聞	とよたみよしホームニュース	岸田吟香・劉生父子の企画展開催	4 月 25 日	中日新聞 豊田みよし販売店会
8	WEB	游墨舎ちゃんねる	岸田吟香没後 120 年「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—」	4 月 25 日	游墨舎
9	WEB	Sfumart	岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—	4 月 25 日	(株) ミュージアムマン
10	新聞	中日新聞	中国の美を書や絵に岸田吟香、劉生の挑戦	4 月 26 日	中日新聞社
11	WEB	美術手帖	岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり— (豊田市博物館)	4 月 26 日	カルチュア・コンビニエンス・クラブ (株)
12	WEB	今見られる全国のおすすめ展覧会	岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—	4 月 26 日	(有) ケイティコム
13	WEB	アイエム「インターネットミュージアム」	岸田吟香と岸田劉生	4 月 26 日	(株) 丹青社
14	新聞	中日新聞	見出し：岸田吟香と岸田劉生	4 月 30 日	中日新聞社
15	フリペ	ぶらりん豊田	今月のお出掛け情報 企画展「岸田吟香と岸田劉生」	4 月 30 日	(株) ネット・フレンズ
16	新聞	新三河タイムズ	「書の革新」傑人・吟香にあり	5 月 2 日	新三河タイムズ社
17	新聞	矢作新報	岸田吟香と岸田劉生	5 月 2 日	矢作新報社
18	テレビ	東海テレビ	FNN Live News days	5 月 2 日	東海テレビ
19	テレビ	ひまわりネットワーク	とよた NOW ニュース	5 月 2 日	ひまわりネットワーク
20	WEB	豊田経済新聞	豊田市博物館で企画展 挙母藩ゆかりの儒官・岸田吟香と息子・劉生を題材に	5 月 7 日	豊田経済新聞
21	新聞	中日新聞	岸田吟香「隸書 濟世為懷額」	5 月 8 日	中日新聞
22	新聞	中日新聞	岸田劉生「童女図 (麗子立像)」	5 月 9 日	中日新聞
23	新聞	中日新聞	岸田劉生「麗子像」変遷たどる	5 月 9 日	中日新聞
24	新聞	中日新聞	見出し：岸田吟香と岸田劉生	5 月 15 日	中日新聞
25	新聞	新三河タイムズ	豊邨さん、学芸員対談	5 月 16 日	新三河タイムズ社
26	新聞	しんぶん赤旗	父子で受け継ぐ東洋熱 (展評)	5 月 16 日	日本共産党中央委員会
27	新聞	矢作新報	書の実演に釘づけ	5 月 23 日	矢作新報社

28	新聞	中日新聞	見出し：岸田吟香と岸田劉生	6月5日	中日新聞社
29	雑誌	美術の窓 2025年12月号	特別座談会 2025年の展覧会を振り返る！（展評）	11月20日	生活の友社

アンケート

調査日：4月26日（土）～6月15日（日）

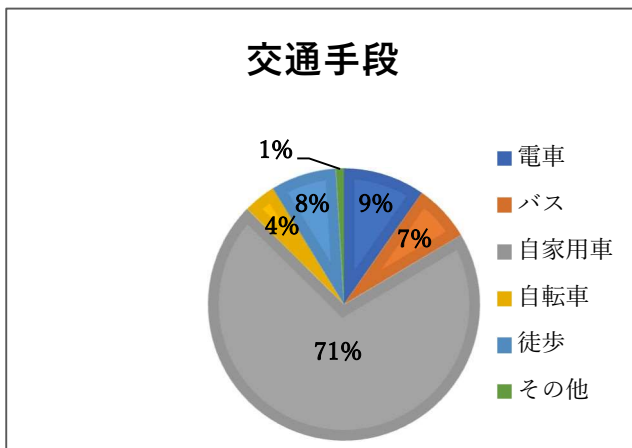
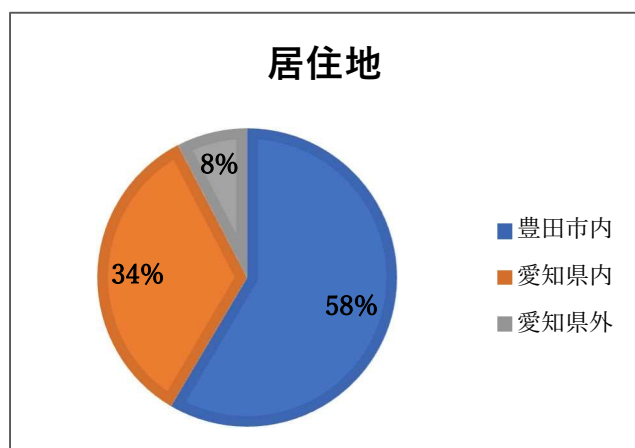
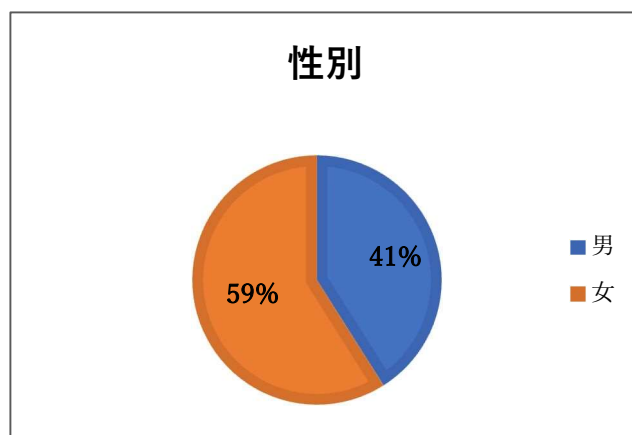
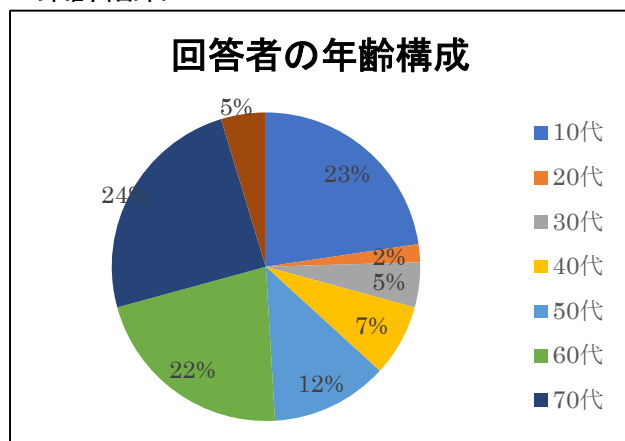
調査方法：展示室出口にアンケート用紙と記載台設置

集計件数：118件

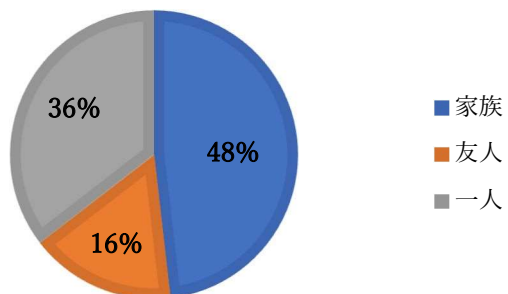
【アンケート結果より】

- ・来館者の年齢層は、10代～40代が37%、50代～80代が63%であった。学校単位で来館する博物館学習の影響により、10代が全体の23%。20～40代の割合が低位で、自主企画展において、この年代への来館アプローチが引き続きの課題として挙げられる。
- ・市内からの来館者が58%。豊田市を除く県内からの来館者が34%。県外からの来館者は8%で、HPやSNS、チラシを見ての来館が多かった。今後、県外のポスター・チラシについて、展覧会の内容に則した効果的な送付先を検討したい。
- ・展覧会の満足度は、5（良い）→1（悪い）の評価順で「4」及び「5」が87%。平均値均値は4.35。多くの方に高評価をいただいた。一方、「1」～「3」の低い評価が13%あり、今後自主企画展を行う上で、展示手法等、検討すべき有益な意見もいただいた。

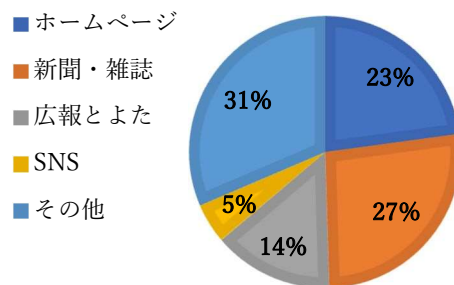
集計結果



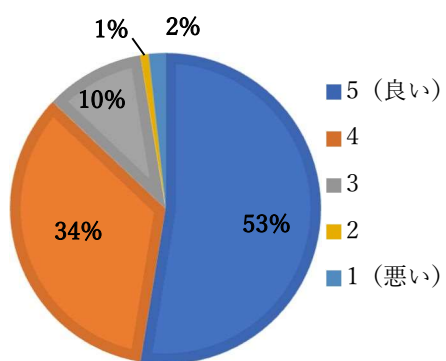
どなたとお越しになりましたか



どのように知りましたか



満足度



②「ブルックリン博物館所蔵 特別展 古代エジプト」掘り起こせ、三千年の謎

【総括】

豊田市博物館初の海外作品を出品する巡回展として開催した。本展は、森アートセンターギャラリー（東京都）を皮切りに全国を巡回するもので、ブルックリン博物館が誇る古代エジプトコレクションから、彫刻、棺、宝飾品、土器、パピルス、人間やネコのミイラなど約 150 点の作品を展示した。

本展と同時期に豊田市美術館で「モネ 睡蓮のとき」が開催され、来館者の約 60%が両館を訪れている。また両展覧会にあわせて、一般社団法人ツーリズムとよたによる「モネプトスタンプラリー」など、市内滞在及びまちなかの周遊を促進するための取組が行われ、地域全体での盛り上がりを見せた。

常設展示室及びとよはくアクアリウムでは展示作品に関する昆虫標本や岩石標本、魚類を展示し、総合博物館である豊田市博物館ならではの視点を加えた。

来場者数は 133,916 人と、目標の 54,000 人を大きく上回り、入場待ち時間が 90 分を超えることもあった。

会 期	令和 7 年 6 月 28 日（土）～9 月 7 日（日）	64 日間
会 場	展示室 1・2	
観 覧 料	当日券：一般 2,300 円 高校生・大学生 1,200 円 中学生以下 無料	
主 催	ブルックリン博物館、豊田市博物館、中京テレビ放送	
協 賛	DNP 大日本印刷	
協 力	名古屋大学、日本航空、一般社団法人 Platoo、ヤマト運輸、World Scan Project、TSP 太陽、あいち豊田農業協同組合	
観覧者数	133,916 人（1 日平均 2,092 人、有料率 72.5 %） ※目標 54,000 人	
図録販売	4,062 冊（購入率 3 %）	販売価格：3,080 円



関連事業

No.	タイトル	開催日時	会場	講師	参加 (人)
1	本展監修者 河江肖刺講演会	6/28 (土) 14:00～ 15:30	セミナールーム	河江肖刺（監修者、名古屋大学デジタル人文社会科学推進研究センター教授）	99



メディア露出

No.	媒体	種別	タイトル	掲載日（放送日）	発行（放送）
1	テレビ	情報番組	カミング	3月12日～8月15日 計4回	中京テレビ
2	テレビ	情報番組	チケット！	4月10日～9月4日 計28回	中京テレビ
3	テレビ	天気予報	天気フィラー	4月7日～8月18日 計14回	中京テレビ
4	テレビ	特番	世界まる見え！テレビ特捜部特別版×古代エジプト展 SP	7月19日 13:30～30分間	中京テレビ
5	テレビ	情報番組	凸（トツ）	6月27日～8月8日 計5回	中京テレビ
6	テレビ	情報番組	キャッチ！	6月27日 生中継	中京テレビ
7	テレビ	情報番組	ぐ～たくさん	7月13日	中京テレビ
8	テレビ	情報番組	あさドレ	7月4日	中京テレビ
9	テレビ	CM	モネセット券 エジプト単体	3月31日～5月31日 計54回 3月31日～9月7日 計67回	中京テレビ
10	新聞	テレビ欄	展覧会告知	6月28日	中日新聞
11	交通広告	ポスター	地下鉄 64 駅に設置	6月2日～8日	名古屋市営

				6月23日～29日	地下鉄
12	交通広告	ポスター	金山総合駅 と地下鉄間のエスカレーター壁面に設置	6月23日～7月6日	JR、名古屋鉄道、名古屋市営地下鉄
13	交通広告	デジタルサイネージ	ビッグウォールと柱巻8本	6月30日～7月6日	名古屋市営地下鉄
14	コンビニ	店内広告	店内ポスター	4月8日～14日、4月15日～21、5月27日～6月2日、7月22日～28日	ローソン
15	コンビニ	店内放送	店内放送	4月15日～21日、5月27日～6月2日、7月22日～28日	ローソン
16	WEB	WEB 広告	GDN Instagram	6月13日～26日	
17	WEB	WEB 広告	TikTok Instagram	どこいく愛知県民 7月4日投稿 やまたび 7月7日投稿	
18	WEB	WEB 広告	@プレス	掲載数84件	

平日入館促進対策

- ・7/1～愛知限定デザイン！Blue Hippo ステッカーを配布（HP、Xで告知）
- ・平日の入館を促進するため、青いカバをデザインしたステッカーを1枚/人プレゼントし、休日の混雑を緩和する施策を実施。デザイン6種類合計30,000枚

駐車場対策

- ・臨時駐車場の設置（旧エコフルタウン跡地）：駐車台数約400台
稼働日：7月19日～9月15日（53日間）平均利用台数225台
- ・豊田市民文化会館との相互利用
- ・中心市街地フリーパーキング認証回数 2,882回（31）
博物館：2,146回（9回）、美術館：736回（22回）
※（ ）は前年同期間の実績
- ・タクシー協会との連携：美術館東口に待合を設置



シャトルバスの運行

- ・運行区間：臨時駐車場～豊田市美術館庭園（無料）
運行日：7月19日～土日祝日、お盆期間、9月全日、33日間、各日2台（1日26便）
乗車人数：17,456人、平均529人/日、1便平均20人
- ・運行区間：豊田市駅～豊田市美術館庭園
運行日：土日祝日29日、お盆期間4日、各日2台（1日18便）、
乗車人数：9,356人、平均284人/日、1便平均16人
運賃：片道：大人200円、小人100円



関係各所との連携

- ①議会バスの運行：6日間、1日6往復【議会局】
- ②中央図書館での関連図書展示：6月1日～8月31日【中央図書館】
- ③日傘の貸し出し50本：9月6～15日【環境政策課】
- ④オリジナルブックマーク（9種類）の製作【ツーリズムとよた】

以下⑤及び⑥の取組において、利用者に配布。

⑤チケット付き宿泊・日帰りプラン販売【豊田ホテル旅館組合】

日帰りプラン（件）	宿泊プラン（件）
5	38
計 43	

⑥「モネブト」いこまいるとよた・デジタルスタンプラリー実施【ツーリズムとよた】
スタンプラリー参加者数 合計：1,571 人

【参考】うち飲食店（8店舗）でのチェックイン数 941 人

knot（Riso）：163 人、まめあん：115 人、花遊庭：111 人

Bullshit：83 人、満福支店：163 人、スイートコーンズ：181 人

ヴェルデロッソ：79 人、香嵐溪一の谷：46 人

⑦コラボメニュー提供【ツーリズムとよた、まちなか宣伝会議】

参加店舗数：市内飲食店及びホテル 計 18 店舗



⑧緑陰歩道での取組【文化振興課（文化振興財団）】

- ・「緑陰ギャラリー掲示板」等を活用した特大パネル（フォトスポット）の展示（4 か所）
- ・市民アート団体「とよた市民アートパーティー」によるアート作品の展示販売等

⑨チケット&観覧記念券サービスの実施【まちなか宣伝会議】

参加店舗数：40 店舗

⑩フォトスポットの設置【まちなか宣伝会議】

アンケート

調査日：6月28日（土）～9月7日（日）

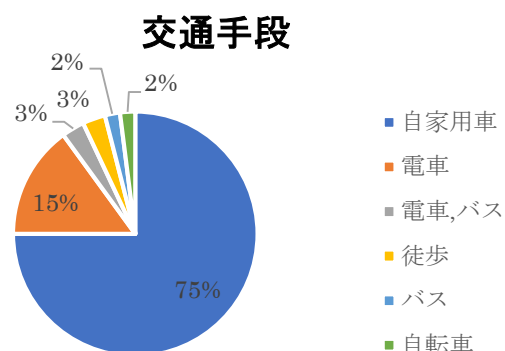
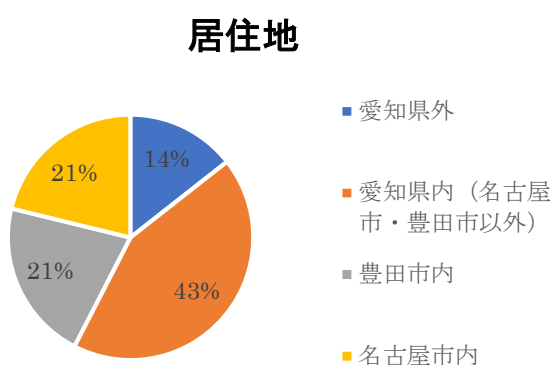
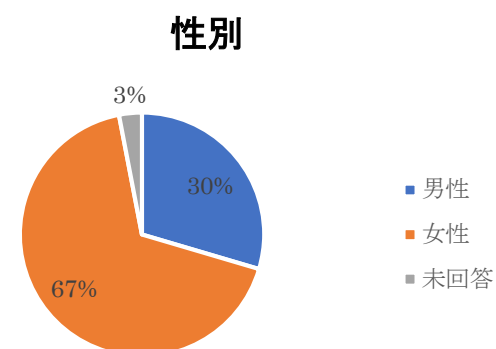
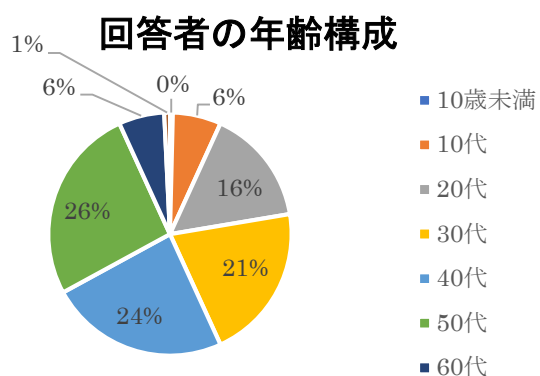
調査方法：展示室出口に QR コードを表示し、WEB 回答

集計件数：264 件

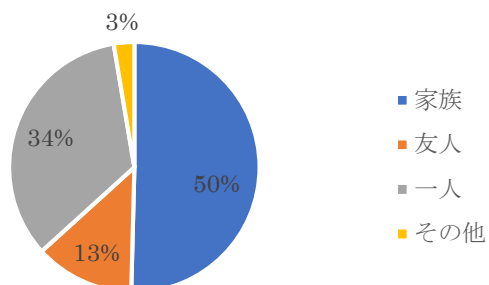
【アンケート結果より】

- ・回答者の年齢構成は、20～40 代で過半数を超え、家族で来館した人が 50%であった。
- ・市内・市外比は、豊田市内 21%と、前回巡回展「特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」」の 36%と比べて、市外者の来館が多い傾向となった。
- ・本展を知ったきっかけは、SNS とホームページで過半数を超え、インターネット経由での周知に効果があったことがわかる。
- ・5 段階評価による満足度は、5 ないし 4 と回答した来館者は 82%であった。2 ないし 1 と回答した理由として、駐車場や会場内の混雑とスタッフによる誘導に対する不満や会場内の私語に対する不満等、想定以上の来館者があったことに起因する混雑対応に関するものを挙げている。今後、同規模の展覧会を開催する際には展示作品点数や動線、入場日時指定の導入等を検討する必要がある。

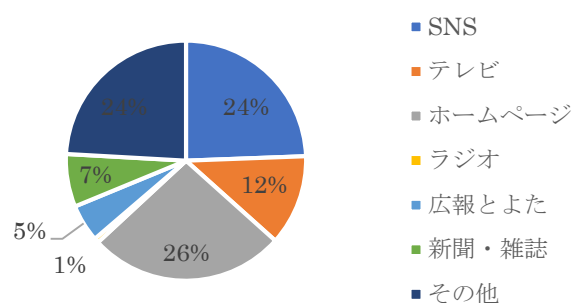
集計結果



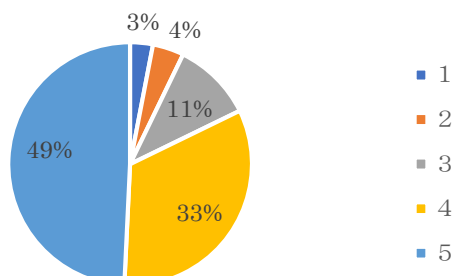
どなたとお越しになりましたか



どのように知りましたか



満足度



③特別展「深宇宙展－人類はどこへ向かうのか－」

【総括】

本展は NHK100 周年記念事業として企画され、日本科学未来館（東京都）と豊田市博物館の 2 会場で開催した。豊田市での開催のねらいは、産業技術の最高峰である宇宙開発分野について、最新の知見や技術を多くの市民に伝えるとともに、豊田市と宇宙産業の繋がりを紹介することで、市民が地域のモノづくりへの関心を高める機会を創出するものである。

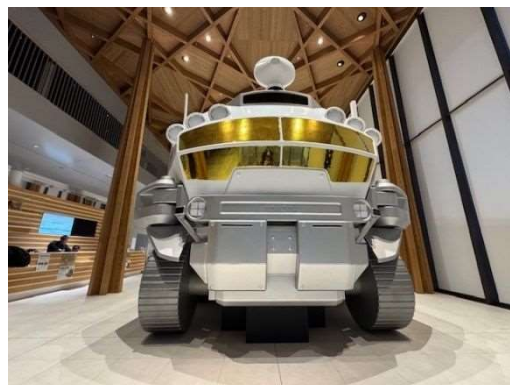
展示内容として、トヨタ自動車も関わる国際月面探査プロジェクト「アルテミス計画」の全容を世界初公開するとともに、火星探査やロケット技術等に関わる実物、模型、映像を 100 点以上展示した。また、とよた科学体験館をはじめとする市内関係施設、企業と連携した関連イベントや展示を複数展開し、会期中に市民が宇宙に関する情報や技術に身近に触れることができる機会を設けた。

観覧者数は 69,921 人であり、目標の 60,000 人を超えることができた。また、関連企画の参加者はのべ 70,000 人を超え、多くの方に宇宙開発の最前線と豊田市の繋がりを伝えることができた。

会 期 令和 7 年 10 月 18 日（土）～令和 8 年 1 月 18 日（日） 79 日間
 会 場 展示室 1・2
 観覧料金 当日券：一般：1,900 円、高校・大学生：1,000 円、中学生以下：無料
 主 催 豊田市博物館、NHK 名古屋放送局、NHK エンタープライズ中部、
 中日新聞社、中部経済新聞社

観覧者数 69,921 人（有料率 61.3%） ※目標 60,000 人

図録販売 2,532 冊（購買率：8.5%） 販売価格 2,800 円



関連事業

No.	タイトル	開催日時	会場	主催	実績
1	深宇宙展開催記念講演会 「深宇宙展」がひらく宇宙への扉 —監修者とめぐる見どころと宇宙開発の未来像	10/18 14：30～16：00	博物館	実行委員会	77
2	まちぼし	11/1（土） 18：00～	科学体験館	科学体験館	83
3	プラネタリウムコンサート 「秋夜を彩る星々と古楽の調べ」	11/2（日） ①14：30～②17：00 ～	科学体験館	科学体験館	245

4	いろいろプラスネタリウム② 上坂監督が語る月、火星、そして その先へ	11/9 (日) 16:00～17:30	科学体験館	科学体験館	80
5	豊田宇宙プロジェクト 子供向け ワークショップ	11/21 (金)、22 (土)	T-face	未来都市 推進課	40
6	XR バス乗車体験	11/21 (金)、22 (土)	博物館	未来都市 推進課	220
7	天体写真撮影講座	11/22 (土) 16:30～18:30	博物館	博物館	18
8	有人と圧ローバー開発エンジニア トークイベント	11/24 (月・祝) ①10:30～②13:30 ～	博物館	博物館	193
9	ロケット開発エンジニアによる宇 宙教室	2025/12/7 10:30～	博物館	未来都市 推進課	120
10	いろいろプラスネタリウム③ 「ほろよいプラネタリウム」	12/12 (金) 19:00～	科学体験館	科学体験館	69
11	まちぼし	12/13 (土) 18:00～	科学体験館	科学体験館	59
12	博物館で天体観測	1/9 (金) 18:30～19:30	博物館	博物館	118
13	若田光一氏・小谷勲氏 講演会	1/10 (土) 14:00～16:00	博物館	未来都市 推進課	180
14	宇宙飛行士ワークショップ	1/17 (土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00	科学体験館	科学体験館	34
15	e-パレットシャトルバス	10/25 (日)、11/8 (日)、11/15 (日)、 12/7 (月)、12/20 (日)	新豊田駅～ 博物館	未来都市 推進課	400



関連企画展示

No.	タイトル	期間	会場	主催	実績
1	とよたから宇宙へ！ H3 ロケットを支えるとよたの企業	9/12(土)～1/18 (日)	博物館	博物館 未来都市 推進課	46,824
2	科学ふらっとときかく展 「石から宇宙をさぐる展～月・火星編～」	10/18 (土) ～ 11/16 (日)	科学体験館	科学体験 館	11,447
3	宇宙服、月面探査機模型等の展示	11/7(金)～24 (月)	T-face	未来都市 推進課	30
4	科学ふらっとときかく展 「石から宇宙をさぐる展～小惑星編～」	12/6～1/18	科学体験館	科学体験 館	14,833

メディア露出

No.	媒体	種別	タイトル	掲載日（放送日）	発行（放送）
1	新聞	中日新聞	開催告知（行楽日和）	7月25日～1月11日	中日新聞
2	新聞	中日新聞	社告	7月29日	中日新聞
3	新聞	中日新聞	広告	8月14日～1月9日	中日新聞
4	新聞	中日新聞	広告	8月18日～1月5日	中日新聞
5	新聞	中部経済新聞	開幕記事	9月17日	中部経済新聞
6	新聞	中部経済新聞	広告	9月18日～1月17日	中部経済新聞
7	新聞	中部経済新聞	広告	9月20日～12月27日	中部経済新聞
8	広報誌	広報とよた	ピックアップ「深宇宙展」	10月1日	広報とよた
9	新聞	中日新聞	監修した宇宙開発専門家の戸梶歩さんに見どころを聞いた	10月11日	中日新聞
10	新聞	中日新聞	広告	10月15日、11月16日	中日新聞
11	新聞	中日新聞	社告	10月15日	中日新聞
12	新聞	中日新聞	広告	10月15日、11月16日	中日新聞
13	新聞	中部経済新聞	紹介記事	10月16日	中部経済新聞
14	新聞	中部経済新聞	開催社告	10月17日	中部経済新聞
15	テレビ	情報番組	まるっと！	10月17日	NHK 名古屋
16	新聞	中日新聞	きょう開幕	10月18日	中日新聞
17	新聞	中日新聞	ウィークリー美術館	10月18日	中日新聞
18	新聞	中部経済新聞	紹介記事、コラム	10月18日	中部経済新聞
19	新聞	中日新聞	「本物」のロケット実感して	10月19日	中日新聞
20	新聞	矢作新報	宇宙への新たな挑戦を体感	10月24日	矢作新報
21	新聞	中日新聞	連載①著名人	10月25日～31日	中日新聞
22	新聞	中日新聞	小惑星の試料 実物を展示	10月26日	中日新聞
23	新聞	中日新聞	人類の技術と信念 月へ挑む	10月30日	中日新聞
24	新聞	新三河タイムス	「深宇宙展」が人気	10月31日	新三河タイムス
25	テレビ	情報番組	月面テレビ 2030	11月2日	NHK 名古屋
26	テレビ	バラエティ番組	天才てれびくん！	11月6日	NHK 名古屋
27	テレビ	情報番組	まるっと！	11月7日	NHK 名古屋
28	新聞	中日新聞	「ロケット 月面探査車 宇宙わくわく 豊田で JAXA の模型展示やトークショー」	11月20日	中日新聞
29	新聞	中日新聞	「バス車内で深宇宙の旅 豊田できょうまで特別展	11月22日	中日新聞

			合わせ催し」		
30	新聞	中日新聞	連載②著名人	11月26日～12月2日	中日新聞
31	新聞	中日新聞	写真グラフ	12月3日	中日新聞
32	テレビ	ドラマ	放送 100 年特集ドラマ 「火星の女王」	12月13日、20日、27 日	NHK 名古屋
33	テレビ	情報番組	ヒューマンエイジ「宇 宙」	12月14日	NHK 名古屋
34	テレビ	情報番組	まるっと！	12月15日～19日	NHK 名古屋
35	ラジオ	情報番組	夕刊ゴジらじ	12月16日	NHK 名古屋
36	テレビ	バラエティ番組	コズミックフロント	12月19日	NHK 名古屋
37	テレビ	ドキュメンタリ ー番組	新・プロジェクト X～挑 戦者たち～オモチャの技 術で宇宙をめざせ～世界 最小の月面ロボット開発 ～	12月20日、27日	NHK 名古屋
38	ラジオ	情報番組	夕刊ゴジらじ	12月24日	NHK 名古屋
39	テレビ	情報番組	ぐるっと！	12月26日	NHK 名古屋
40	テレビ	情報番組	「探査機バイジャー」ミ ニ番組	1月10日、16日	NHK 名古屋
41	新聞	中日新聞	来場者 5 万人突破	1月5日	中日新聞
42	新聞	中日新聞	宇宙の魅力 若田さんら 語る豊田市博物館で講演 会	1月11日	中日新聞
43	新聞	新三河タイムス	「水素蓄電」のエノアが 提供 深宇宙展で連携企 画	11月21日	新三河タイム ス
44	新聞	新三河タイムス	月面探査模型や記念撮影 など	11月21日	新三河タイム ス
45	新聞	中部経済新聞	紹介記事	11月22日	中部経済新聞
46	新聞	中日新聞	138 億年前 宇宙誕生に 迫る	11月28日	中日新聞
47	新聞	中日新聞	星のゆりかご 電波で観 測	11月30日	中日新聞
48	新聞	中日新聞	ブラックホール 夢の画 像	12月1日	中日新聞
49	新聞	中日新聞	体感せよ新たな挑戦を	12月3日	中日新聞
50	新聞	矢作新報	豊田出身 ロケット開発 者 アカデミックトーク ショー	12月5日	矢作新報
51	新聞	中部経済新聞	コラム	12月6日	中部経済新聞
52	新聞	中部経済新聞	来場 3 万人	12月10日	中部経済新聞
53	テレビ	情報番組	WBS 年末特集	12月28日	テレビ東京
54	新聞	中部経済新聞	紹介記事	1月7日	中部経済新聞
55	新聞	中部経済新聞	紹介記事	1月8日	中部経済新聞

56	新聞	中部経済新聞	閉幕記事	1月19日	中部経済新聞
----	----	--------	------	-------	--------

アンケート

調査日：2025年10月18日（土）～2026年1月18日（日）

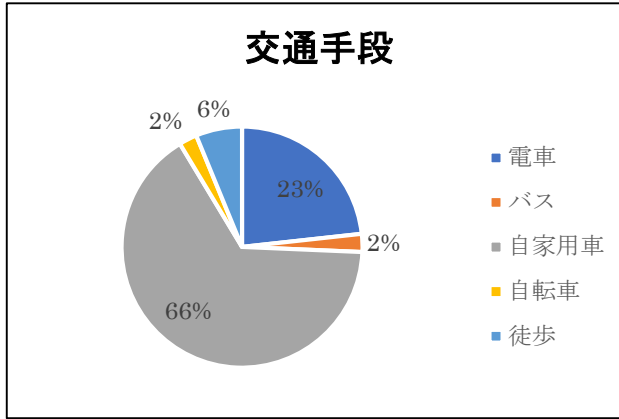
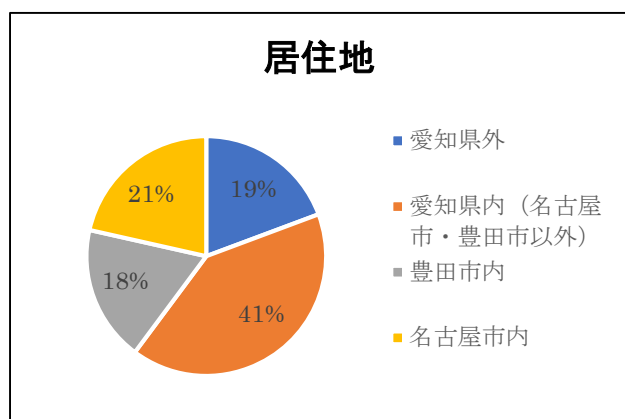
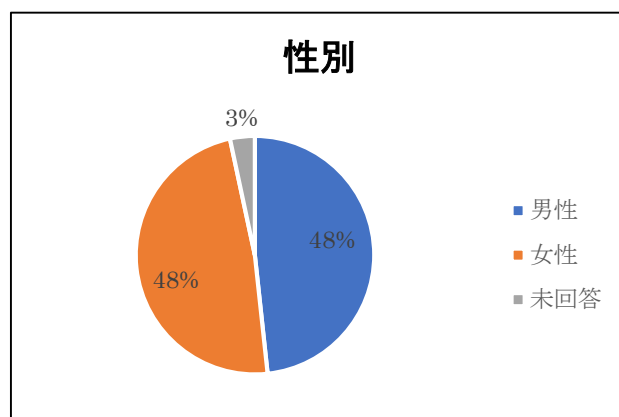
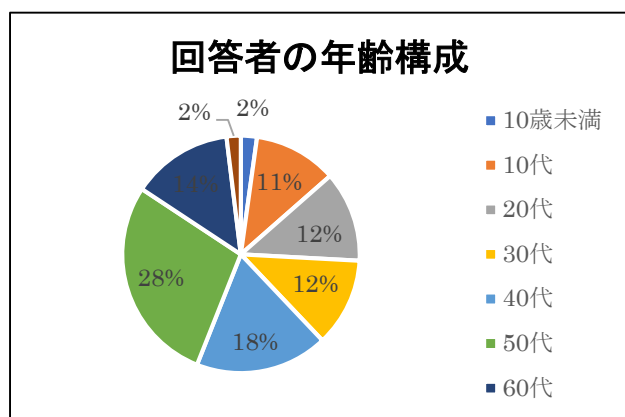
調査方法：展示室出口に二次元コードを表示し、WEB回答

集計件数：414件

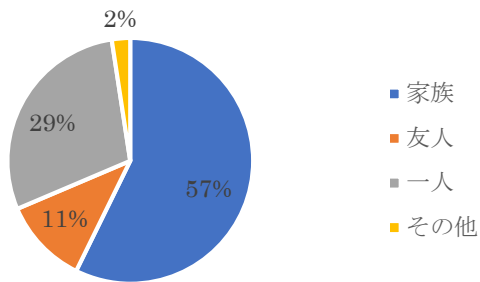
【アンケート結果より】

- ・来館者の傾向として、豊田市・名古屋市以外の県内市町村および県外から来館したという回答が全体の60%を占め、広域に集客を促すことができていたと考えられた。
- ・来場者の属性としては、家族連れが多く、メインターゲットであった子どもとその親にリーチしていたことがうかがえた。
- ・満足度（CSAT；5段階評価中の5、4を付けた割合）については、90.1であり、満足度が高かった。

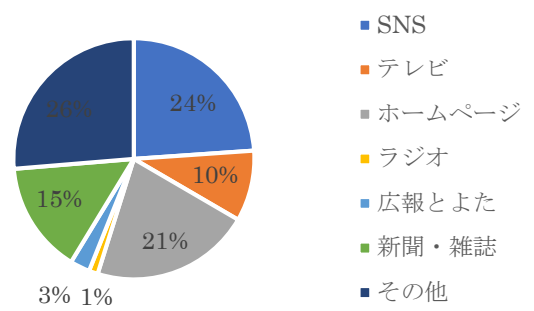
集計結果



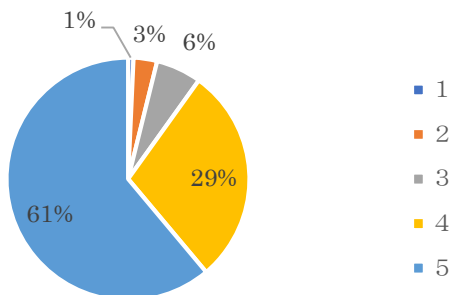
どなたとお越しになりましたか



どのように知りましたか



満足度



④「伊能忠敬－新しい地図の世界へ－」

【総括】

学校の歴史の授業で習う偉人伊能忠敬について、国宝「伊能忠敬関係資料」を中心に、日本地図の歴史の中から忠敬の業績を紹介するとともに、豊田市内における忠敬の足跡や、伊能図と同時期に作成された豊田に残る古絵図の紹介を意図した。

展示室の入口に伊能中図復元シートを設置し、その地図の上に乗って間近に見てもらうことで伊能図の精巧さを知ってもらった。また、忠敬の自筆の日記をパネルで紹介し、忠敬の活動について詳しく触れるとともに、とよはくセミナーでは伊能忠敬はなぜ豊田市に来たのかを参加者とともに考えることで、関心を深めた。さらに、えんにち空間では展覧会に関連する地名や国道の展示を行った。

観覧者数は23,912人で目標26,000人には到達しなかった。図録は、1,313冊の販売があり、入場者の5.5%が購入した。会期中に増刷したものの、最終日前には完売した。会期前半は観覧者が多かったものの、後半にかけて停滞気味であった。展覧会開催後の広報活動について検討する必要がある。

会 期 令和8年1月31日(土) ～ 3月29日(日) 58日間
 会 場 展示室1・2
 観覧料金 当日券：一般：1,200円、高校・大学生：1,000円、中学生以下：無料
 主 催 豊田市博物館
 共 催 中日新聞社、豊田市教育委員会、愛知県教育委員会

観覧者数 23,912人(有料率47.3%) ※目標26,000人

図録販売 1,313冊(購買率：5.5%) 販売価格1,400円



関連イベント

No.	タイトル	開催日時	会場	講師	参加(人)
1	愛環ウォーキング「保見地区の歴史をたどる」	1/31(土)	保見地区	—	813
2	とよはくセミナー「伊能忠敬ととよた」	2/14(土) 14:00～15:30	セミナールーム	担当学芸員	153
3	愛環ウォーキング「博物館周辺の伊能の足跡をたどる」	2/28(土)	博物館周辺	—	1,007
4	講演会「日本地図作製の歴史」	2/28(土) 14:00～15:30	セミナールーム	小野田一幸(甲南大学非常勤講師/前神戸市立博物館学芸課長)	184
5	ギャラリートーク	3/1(日) 15:00～15:30	展示室1・2	担当学芸員	35
6	ワークショップ「伊能忠敬が行った測量と現代の測量をくらべてみよう」	3/14(土) 11:00～12:30・14:00～15:30	セミナールーム・イベント広場	大啓建設・担当学芸員	29



7	ギャラリートーク	3/15 (日) 14:00 ～14:30	展示室1・2	担当学芸員	45
8	講演会「伊能忠敬の健康づくり」	3/22 (日) 14:00 ～15:30	セミナールーム	福崎千穂氏 (中 京大学教授)	113

メディア露出

No.	媒体	種別	タイトル	掲載日 (放送日)	発行 (放送)
1	新聞	中日新聞	伊能忠敬展広告	1月20日	中日新聞社
2	交通広告	ポスター	愛知環状鉄道新豊田駅ほか7駅	1月27日～2月10日	愛知環状鉄道
3	新聞	中日新聞	「美術博物館情報:伊能忠敬展」	1月29日	中日新聞社
4	新聞	中日新聞	「今日から伊能忠敬展」	1月31日	中日新聞社
5	新聞	中日新聞	伊能忠敬展広告	2月4日	中日新聞社
6	新聞	新三河タイムズ	「拳母も歩いた 伊能忠敬展」	2月6日	新三河タイムズ社
7	新聞	矢作新聞社	伊能忠敬展	2月6日	矢作新報社
8	雑誌	『歴史人』3月号	伊能忠敬展広告	2月6日	昭文社
9	新聞	中日新聞	「美術博物館情報:伊能忠敬展」	2月12日	中日新聞社
10	新聞	中日新聞	「伊能小図」すべて現存」	2月17日	中日新聞社
11	新聞	中日新聞	「車輪の回転で距離測る」	2月18日	中日新聞社
12	新聞	中日新聞	「ぶらっとウォーキング 伊能の足跡」	2月25日	中日新聞社
13	ラジオ	CBC ラジオ	「北野誠のズバリ」	2月25日	中部日本放送
14	新聞	中日新聞	伊能忠敬展広告	2月26日	中日新聞社
15	WEB	WEB 広告	Google	2月27日～3月27日	
16	雑誌	『歴史研究』738号	伊能忠敬展広告	2月28日	戒光祥出版
17	新聞	中日新聞	伊能忠敬展広告	3月3日	中日新聞社
18	雑誌	『歴史街道』4月号	伊能忠敬展広告	3月6日	PHP 研究所
19	WEB	美術展ナビ	「レポート 伊能忠敬—新しい地図の世界へ—」	3月10日	美術展ナビ
20	新聞	中日新聞	「伊能忠敬ゆかりの石碑選定」	3月12日	中日新聞社
21	新聞	新三河タイムズ	「伊能忠敬の測量法を体験」	3月13日	新三河タイムズ
22	新聞	中日新聞	伊能忠敬展広告	3月17日	中日新聞社

アンケート

調査日: ① 1月31日 (土) ～ 3月29日 (日)

② 3月15日 (日) ～ 3月29日 (日)

調査方法: ① 展示室出口に二次元コードを表示し、WEB 回答

②展示室出口にアンケート用紙と記載台を設置

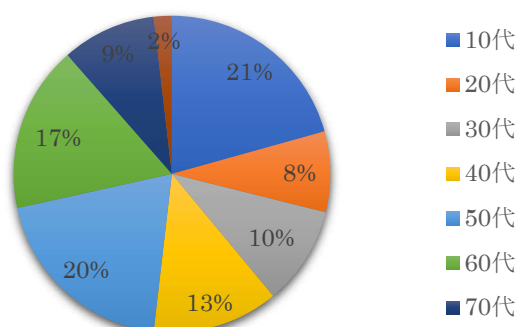
集計件数：①82件 ②150件

【アンケート結果より】

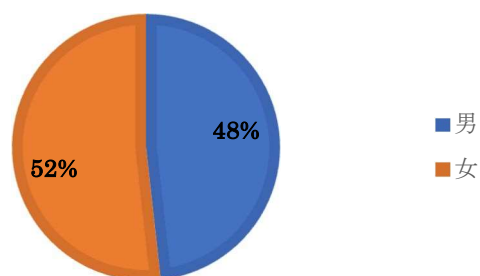
- ・来館者の年齢層については、10代～40代が58%、50代～80代が42%であった。しかし、学校単位で来館する博物館学習の影響もあってか、10代について、全体の28%を占めていた。20代・30代の来館が割合としては少なく、この年代への来館アプローチをどのようにするかが課題である。
- ・豊田市内からの来館者が約半数、豊田市を含め愛知県内からの来館者が87%と非常に多い割合を占めている。展覧会を知った理由としてHPやSNSを見てという人が多く、「深宇宙展」で館内にあったポスターやチラシを見た、という意見も多かった。直前の企画展における広報活動が、良い効果をあげていた。
- ・展覧会の満足度は、5（良）→1（悪い）の評価順で、「4・5」が全体の90%を占め、多くの方に高い満足度での評価をいただいた。

集計結果

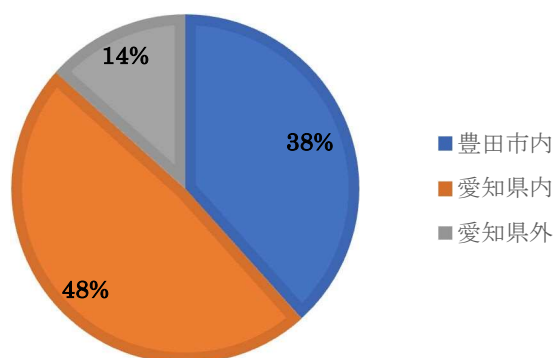
回答者の年齢構成



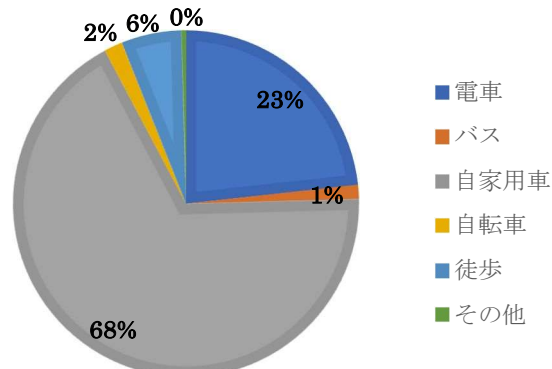
性別



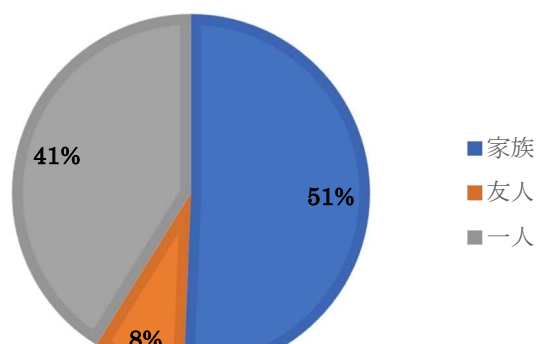
居住地



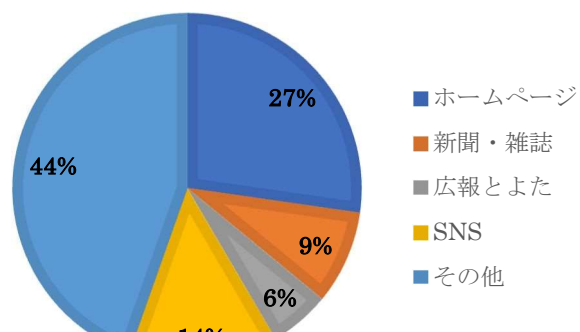
交通手段

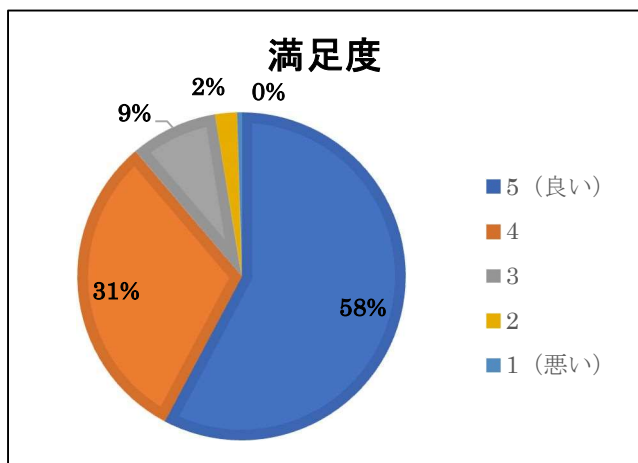


どなたとお越しになりましたか



どのように知りましたか





(3) 地域展示

地域の公共施設や資料館で、地域にちなんだ資料の展示を行った。

タイトル	内容	場所	期間
藤岡地区の遺跡	藤岡地区の遺跡から出土した遺物の展示	藤岡支所	令和7年4月1日～展示中
足助地区の遺跡	足助地区の遺跡から出土した遺物の展示	足助中馬館	令和6年4月1日～展示中
商家の暮らし	江戸時代の商家で使った道具の展示	足助中馬館	令和6年4月1日～展示中
中馬の交通	中馬街道の交通で使われた道具の展示	足助中馬館	令和6年4月1日～展示中
中馬のおひなさん	地域行事に伴うお雛様の展示	足助中馬館	令和8年2月13日～3月9日
坪崎の火きり神事	坪崎町の火きり神事の写真・道具の展示	旭農林会館	令和7年4月1日～展示中
小田木の人形浄瑠璃	人形のカシラ（復元）や写真の展示	稲武支所	令和7年4月1日～12月10日
稲武地区の養蚕・小田木の人形浄瑠璃	養蚕道具と人形浄瑠璃の写真の展示	稲武支所	令和7年12月11日～展示中

7 教育普及

【総括】

アクティブ・ラーニングツアーや現地見学、出前授業や資料持出を行い、積極的な博物館の活用とともに、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動の実現を図った。

令和7年度の博物館学習は、前年度に比べ1割以上多くの学校・児童生徒が利用した。学校での学習と博物館での学びの関わりを念頭に置いて、十分な打ち合わせと準備、実践を心掛けたことで、実物を通した深い学びが実現できた。

引き続き博物館学習の評価や、児童や生徒の発達段階に合わせたプログラム内容の改善が必要である。

また、キャリア学習支援と地域社会への貢献として、市内中学校や就労支援センターと連携し、職場体験や就労に向けた実習の場を提供した。障がいのある方の社会参加を博物館活動の一環として実施した。

(1) 博物館学習

子どもたちが、博物館の展示室や自然・生活体験ゾーン、市内の見学地で観察したこと、触れたこと、感じたことを自由につなげて考え、新しい何かを見つけ、導き出すことを目的としている。主体的・対話的で深い学びや「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校教育と連携している。アクティブ・ラーニングツアーは、市内の小学校6年生と中学校2年生による博物館及び隣接する美術館や市内各所での学習である。

① 博物館学習 実績合計

延べ 391 校 延べ 27,637 人

<内訳>

A アクティブ・ラーニングツアー

延べ 124 校 延べ 8,418 人

B 博物館・現地見学

延べ 151 校 延べ 7,357 人

C 出前授業

延べ 9 校 延べ 665 人

D 資料貸出

延べ 107 校 延べ 11,197 人

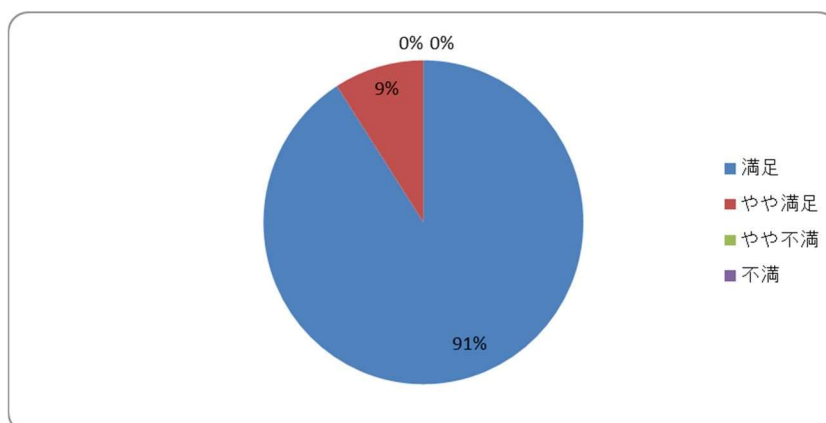
※博物館学習以外における学校等との関わり

- ・ 豊田市教育研究会（社会部会）社会科主任者会の実施 110 人
- ・ 豊田市教育研究会（道徳部会）道徳主任者会 110 人
- ・ 豊田市教育センター 第8回初任者研修校外研修 91 人
- ・ 豊田市教育研究会（社会部会）夏季実技研修会 80 人
- ・ 豊田市教育研究会（図工・美術部会）三河地区夏季実技研修会 80 人
- ・ 愛知地区教育研究会 社会部会 90 人
- ・ 教員のための博物館の日 2025 43 人
- ・ 豊田市公立小中学校女性管理職者会 38 人
- ・ 文部科学省生総合教育政策局視察 4 人
- ・ 東京都品川区議会による行政視察 10 人

②アクティブ・ラーニングツアーの事後アンケート

《教員》

●満足度

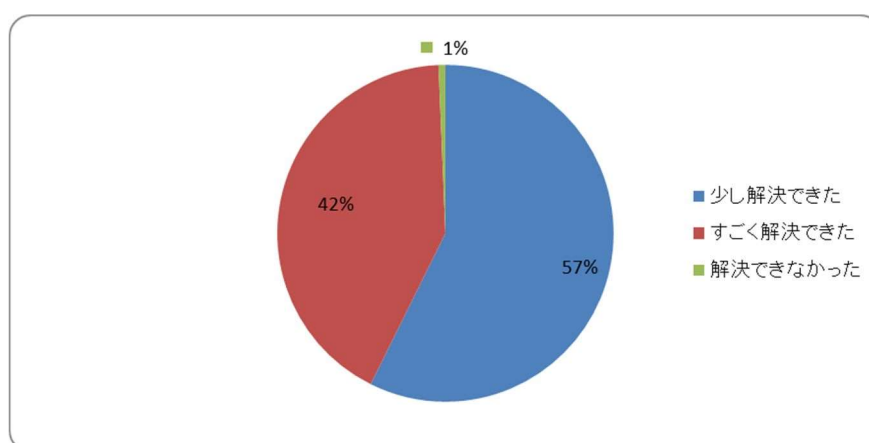


●子どもへの教育効果が高いと感じたところ

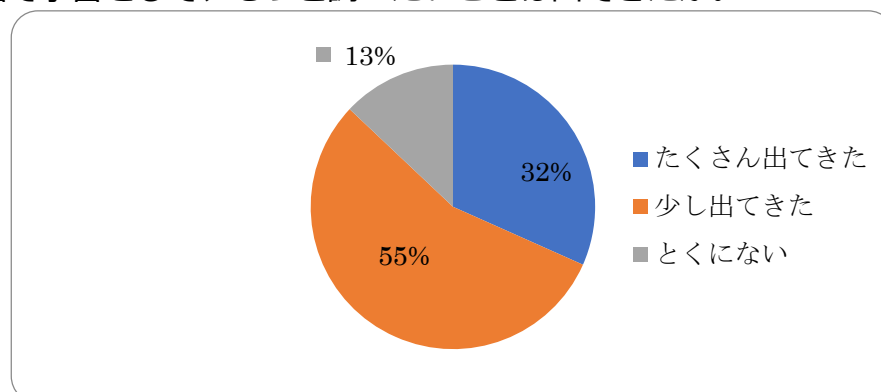
- ・各学校の実態に合わせて、実物や本物を活用する学習プログラムを構成し実践できたこと。
- ・実物に触れることができ、疑問に対してその場で答えていただいた点が興味関心がさらに増える形となった。
- ・美術館での学習を併せて実施できること。
- ・対話による活動により、生徒達の興味関心や意見が多く引き出された点。

《児童生徒》

●博物館で学習をして、学習課題は解決できたか。



●博物館で学習をして、もっと調べたいことは出てきたか。



●自由記述より

- ・博物館学習での展示見学や学習プログラムを通して、豊田の歴史や自然、産業に関する様々なことを学ぶことができた。
- ・豊田市の歴史や、博物館に行かないと分からなかったことなども沢山ありました。
- ・郷土の魅力を再発見する機会となり、郷土愛を育むことができた。
- ・豊田市には、自分が知らないだけで沢山の歴史や文化、地理がある事を知り、この事をもっと多くの方々に知ってもらいたいと感じました
- ・はじめて訪れた子ども達が、博物館や美術館のおもしろさを知る機会になった。
- ・博物館で学んだことをきっかけに現地を訪れたいという思いを高めた。
- ・関心の高さや、学習の好き嫌いに関わらず、多くの子が楽しく学び、興味関心を高めた。

(2) 博物館実習

8月26日(火)～30日(土)の5日間で実施し、10人(8大学)が受講した。

(3) 職場体験

① 中学生

No.	実施日	体験内容	派遣元	人数 (人)
1	令和7年10月1日	博物館の業務の体験	高橋中学校	2
2	令和7年10月1日	博物館の業務の体験	美里中学校	2
3	令和7年11月26日	博物館の業務の体験	若園中学校	1
4	令和7年11月27日	博物館の業務の体験	保見中学校	1

② 就労支援施設通所者

No.	実施日	体験内容	派遣元	人数 (人)
1	令和7年10月28日	データ入力作業	はたらくの窓口 駅前校	1
2	令和7年11月4日	民具クリーニング作業	はたらくの窓口 駅前校	2
3	令和7年11月6日	民具クリーニング作業	はたらくの窓口 駅前校	2
4	令和7年11月13日	データ入力作業	はたらくの窓口 駅前校	1
5	令和7年11月18日	データ入力作業	はたらくの窓口 本校	1
6	令和7年11月20日	チラシ等封入作業/データ入力作業	はたらくの窓口 駅前校	2 / 1
7	令和7年11月21日	データ入力作業	はたらくの窓口 駅前校	1
8	令和7年11月27日	図書登録作業	はたらくの窓口 駅前校	1

(4) ワークショップ

No.	実施日	内容	参加者 (人)	料金	場所
1	令和7年4月27日	まゆ玉で鯉のぼりを作ってみよう	103	200円	体験室
2	令和7年5月3～5日	よろいを着て合戦図屏風の世界へ	157	無料	セミナールーム
3	令和7年5月24日	顕微鏡でミクロの世界を見てみよう	92	無料	体験室
4	令和7年7月23日	顕微鏡でミクロの世界を見てみよう	108	無料	体験室
5	令和7年9月28日	木の実マグネットをつくろう	130	無料	体験室
6	令和7年10月4日	むかしの家で遊ぼう!	188	無料	むかしの家
7	令和7年11月8日	むかしの家で遊ぼう!	175	無料	むかしの家
8	令和8年3月28日	顕微鏡でミクロの世界を見てみよう	76	無料	体験室

(5) 地域での活動

①アウトリーチ（出前講座等）

- ・調べる・伝える学習応援講座（豊田市中心図書館 7月28日社会科・29日理科）
- ・キャリア学習（豊田市立竜神中学校 11月18日）

②他施設との連携

- ・とよたのミュージアムなぞ解きラリー（10月11日～12月21日）
文化財課が主催する上記の事業について、連携して取り組んだ。美術館、博物館、民芸館、民芸の森、旧松本家長屋門、松平郷館、棒の手会館、喜楽亭、歌舞伎伝承館、旧鈴木家住宅の市内計10館を巡るスタンプラリーであり、718人が10館を巡った。

8 広報

ホームページ・Instagram ※フォロワー数は、各月の1日時点のもの

月	ホームページ	Instagram	
	アクセス数（回）	投稿数（件）	フォロワー数（人）
4	134,152	19	3,757
5	152,837	42	3,931
6	251,297	24	4,076
7	392,770	30	4,620
8	434,259	22	5,021
9	211,089	13	5,576
10	169,979	24	5,709
11	177,256	18	5,970
12	149,705	24	6,130
1	182,742	26	6,310
2	134,212	14	6,747
3	120,212	33	6,950
計	2,510,510	289	—

令和 8 年度展覧会開催状況について

1 『教えて、千田先生！ とよたの城も天下の城も』 **終了**

- ◎会期 令和8年4月25日（土）～6月28日（日） 57日間
- ◎開館時間 10：00～17：30（入場は17：00まで）
- ◎観覧料 当日券：1,200円 高校生・大学生1,000円 中学生以下 無料
- ◎主催 豊田市博物館 共催 中日新聞社
監修 千田嘉博（名古屋市立大学高等教育院教授・奈良大学特別教授）
- ◎観覧者数 17,349人 目標20,000人
- ◎図録販売 2,205冊 販売価格：800円
- ◎アンケート調査（126件）による満足度（良い5 悪い1）平均 4.6
- ◎関連事業

- ①千田嘉博氏講演会「城から歴史を考える－豊田の城から世界の城へ－」
4月25日（土）10：00～11：30
会場 能楽堂 参加者395人
- ②寺部城下町巡り 参加者30名 ※主催 （一社）ツーリズムとよた
6月21日（日） 10：00～11：30
- ③山村亜希氏講演会「地図から考える豊田の近世城下町」
6月21日（日） 14：30～16：00
会場 産業文化センター小ホール 参加者166人
- ④山城シャトルバス ※主催 豊田市シティプロモーション課
博物館⇄山城 定員20人 参加費1,000円 全17便

4月	29日（水・祝）大沼城
5月	2日（土）足助城 3日（日）足助城、飯盛山城 9日（土）市場城 16日（土）川口城 17日（日）小渡城 23日（土）大給城 24日（日）大給城
6月	6日（土）武節城 7日（日）武節城

◎メディア露出

- ・広報とよた4月号掲載、新聞広告等掲載 9回（中日、朝日）
- ・ポスター掲示：愛知環状鉄道新豊田駅・名古屋鉄道豊田市駅、デジタルサイネージ掲示：名古屋鉄道名古屋駅
- ・NHK なごや『まるっと』5/29（金）放送
- ・SNS（Instagram）発信25回

・朝日新聞 千田先生コラム 7/17

◎その他

・ミュージアムショップ特別グッズ作成

千田先生アクリルスタンド・キーホルダー、赤色立体地図模型

・カフェ特別メニュー

単郭式城カレー、赤色立体地図かき氷、赤色立体地図フローズン、

だんごへいもち、かわらけクッキー、礎石クッキー

・中央図書館での関連図書展示 6/2（火）～28（日）

2 養老孟司と小檜山賢二の虫展 ーみて、かんじて、そしてかんがえようー

開催中

◎会期 令和8年7月11日（土）～9月23日（水・祝） 57日間

◎会場 展示室1・2

◎観覧料 当日券：1,500円 高校生・大学生 1,300円 中学生以下 無料

◎観覧者数 19,943人（8/30現在） 目標 40,000人

◎連携事業

イベント

No.	名称	開催日	会場
1	ヘイケボタルを見に行こう	7月11日（土）	豊田市自然観察の森
2	アリの巣を作ってみよう	7月12日（日）	豊田市自然観察の森
3	昆虫ぷらばん	7月20日（月）	豊田市博物館
4	夜の昆虫観察	7月24日（金）	豊田市自然観察の森
5	TG-7を使って深度合成写真体験	7月25日（土）	豊田市博物館
6	昆虫標本を作ってみよう	7月26日（日）	豊田市自然観察の森
7	森のおはなし会 夏だ！生きものみんな元気！	8月1日（土）	豊田市自然観察の森
8	ナイトウォーク	8月8日（土）	豊田市自然観察の森
9	こはくを磨いて 大昔の昆虫をみてみよう	8月11日（火）	豊田市博物館
10	昆虫標本を作ってみよう	8月15日（日）	豊田市自然観察の森
11	六所山で昼と夜の昆虫さがし	8月16日（日）	豊田市総合野外センター
12	ミツバチの不思議講座	8月29日（土）	豊田市自然観察の森
13	森あそび バッタのジャンプ 競技会「バッタリンピック」	9月6日（日）	豊田市自然観察の森
14	秋の鳴く虫 コオロギたちと 仲良くなろう！	9月12日（土）	豊田市自然観察の森

15	顕微鏡でミクロの世界を みてみよう	9月13日（日）	豊田市博物館
----	----------------------	----------	--------

回遊促進事業

No.	名称	開催日	会場
1	とよたの昆虫に出会おう！ 夏のむしむしスタンプラリー	7月11日（土） ～ 9月23日（水）	豊田市博物館 とよた科学体験館 豊田市自然観察の森

関連企画展

No.	名称	開催日	会場
1	とよたストーリー 「 ×昆虫」	7月11日（土） ～ 9月27日（日）	豊田市博物館 （常設展示室）
2	企画展「とよたの昆虫展」	7月11日（土） ～ 9月27日（日）	豊田市自然観察の森
3	科学ふらっとときかく展 「さわって学べる昆虫の科学 展」	7月18日（土） ～ 8月30日（日）	とよた科学体験館

3 戦国を生きる 細川家と永青文庫の名宝 一幽斎・三斎・利休、そして…

◎開催期間 令和8年10月10日（土）～12月6日（日）

◎会場 展示室1・2

◎観覧料 当日券：1,800円 高校生・大学生1,000円 中学生以下 無料

◎関連事業

記念講演会

No.	タイトル	講師	開催日	会場
1	細川家と永青文庫	細川護光（公益財団法人永青文庫理事長）	10月10日（土）	豊田市博物館
2	利休の美とかたち －顔回と利休尻ふくら－	千宗屋（茶道武者小路 千家家元後嗣）	11月7日（土）	豊田市民 文化会館
3	千利休の手紙を読む －自筆と右筆と－	増田孝（愛知東邦大学 客員教授）	11月21日（土）	豊田市博物館
4	城から見た細川家	千田嘉博（名古屋市立 大学高等教育院教授・ 奈良大学特別教授）	11月22日（日）	豊田市博物館

4 はたらく私らしく ―近現代の女性と仕事―

◎会期 令和9年1月23日(土)～3月28日(日)

◎関連事業

講演会 調整中

ギャラリートーク 調整中